

日本NPO学会震災特別プロジェクト

**震災からの生活復興と民間支援に関する
意識調査報告書**

タケダ・いのちとくらし再生プログラム

2014 年 6 月

日本NPO学会

I 調査の概要

1 調査目的

日本 NPO 学会震災特別プロジェクトの一環として、岩手、宮城、福島の前災 3 県の沿岸部 37 自治体（仙台市は沿岸部の若林区と宮城野区のみ）の住民を対象に、東日本大震災から約 3 年後の復興の現状や民間支援に対する被災地住民の意識を把握し、今後の支援活動に生かすために調査を実施した。

2 調査の内容

東日本大震災から約 3 年後の生活復興感や地域の復興の現状、今後の復興についての意識、民間支援活動とのかかわり、支援活動の状況、支援・受援活動の内容、支援活動が役立ったかどうか等。

3 調査の設計

東日本大震災発生当時、岩手、宮城、福島の前災 3 県の沿岸部 37 自治体（仙台市は沿岸部の若林区と宮城野区のみ）に居住する 20 歳以上の男女個人。世帯年収等の経済面での復興状況を把握するため、学生は対象外とした。

また、調査は、インテージ・ネットモニターを利用したインターネット調査として実施した。

【対象市町村】

岩手県（12 市町村）

：宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、（上閉伊郡）大槌町、
（下閉伊郡）山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、（九戸郡）野田村、洋野町

宮城県（15 市町村）

：仙台市宮城野区、（仙台市）若林区、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、多賀城市、
岩沼市、東松島市、（亶理郡）亶理町、山元町、（宮城郡）松島町、七ヶ浜町、利府町、
（牡鹿郡）女川町、（本吉郡）南三陸町

福島県（10 市町村）

：いわき市、相馬市、南相馬市、（双葉郡）広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、
浪江町、（相馬郡）新地町

4 回収結果

■調査概要

調査区分 スクリーニング調査

調査期間：2013/12/12～2013/12/17

調査対象 登録属性より東日本大震災発生時に岩手県・宮城県・福島県に居住していた者

依頼数 13,441s

有効回答数 6,530s →うち、条件該当者 2,239s

※エリア条件該当者 2,257s。(被災程度非回答者含む)

回収率 48.6% (有効回答数/依頼数)

■調査概要

調査区分 本調査

調査期間：2013/12/20～2013/12/25

調査対象 スクリーニング調査より、東日本大震災時、岩手県・宮城県・福島県の対象 37 市町村に居住し、かつ震災での被災状況について「答えたくない」と回答した者以外

依頼数 2,238s

※条件該当者のうち、1 名が調査開始までにモニターを辞めたため、2,238s となった

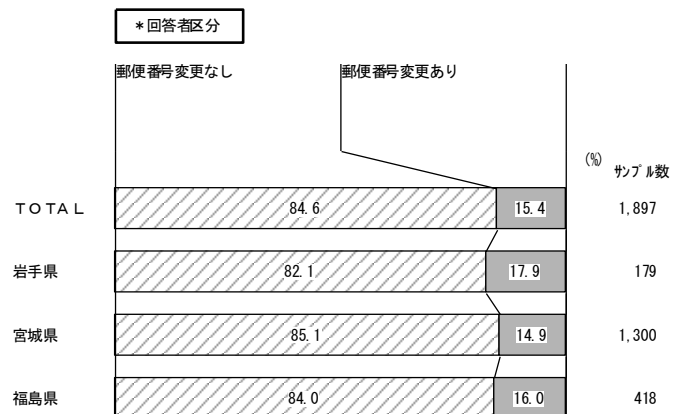
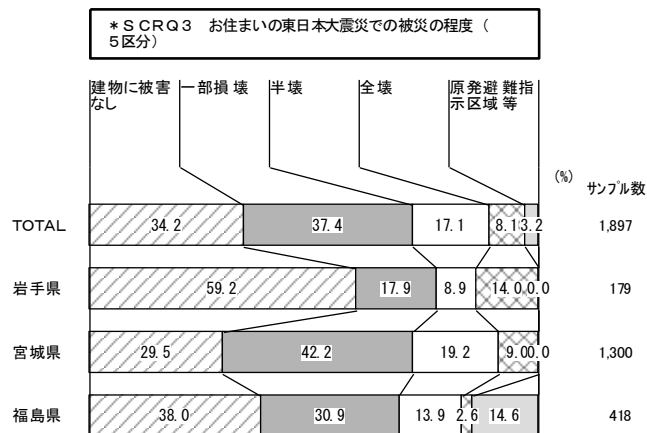
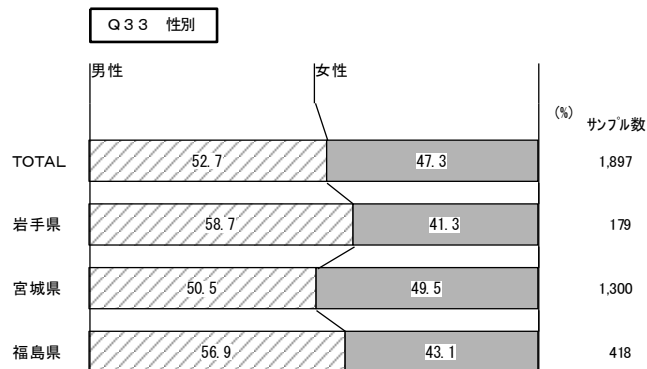
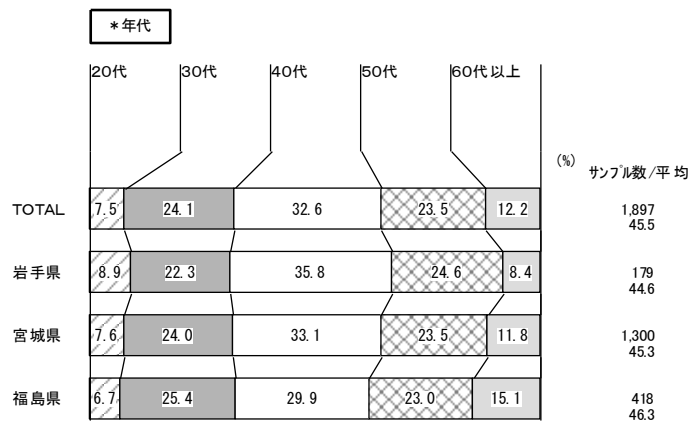
有効回答数 1,897s (集計対象とする有効回答の対象者数)

回収率 84.8% (有効回答数/依頼数)

【回答者属性】

回答者の東日本大震災当時の居住市町村は下記の通り。

岩手県	179	宮城県	1,300	福島県	418
宮古市	50	仙台市 小計	616	原発関連区域以外 小計	351
大船渡市	23	仙台市宮城野区	379	いわき市	320
久慈市	31	仙台市若林区	237	相馬市	27
陸前高田市	16	仙台市以外 小計	684	相馬郡新地町	4
釜石市	22	石巻市	135	原発関連区域 小計	67
上閉伊郡大槌町	3	塩竈市	58	南相馬市	43
下閉伊郡山田町	16	気仙沼市	55	双葉郡広野町	2
下閉伊郡岩泉町	3	名取市	109	双葉郡楡葉町	4
下閉伊郡田野畑村	1	多賀城市	73	双葉郡富岡町	7
下閉伊郡普代村	0	岩沼市	84	双葉郡大熊町	3
九戸郡野田村	2	東松島市	38	双葉郡双葉町	3
九戸郡洋野町	12	亶理郡亶理町	40	双葉郡浪江町	5
		亶理郡山元町	17		
		宮城県松島町	16		
		宮城県七ヶ浜町	22		
		宮城県利府町	30		
		牡鹿郡女川町	2		
		本吉郡南三陸町	5		

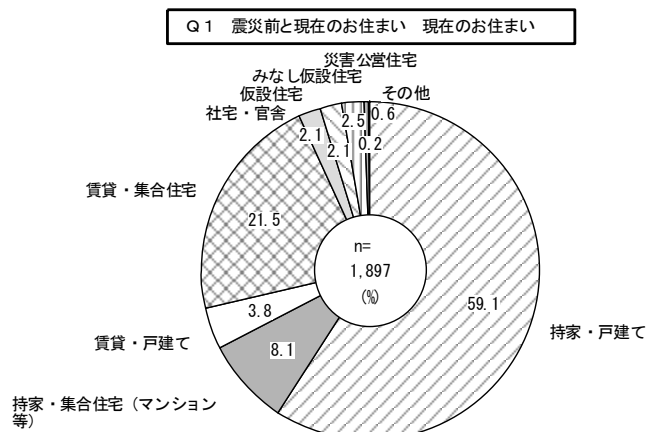
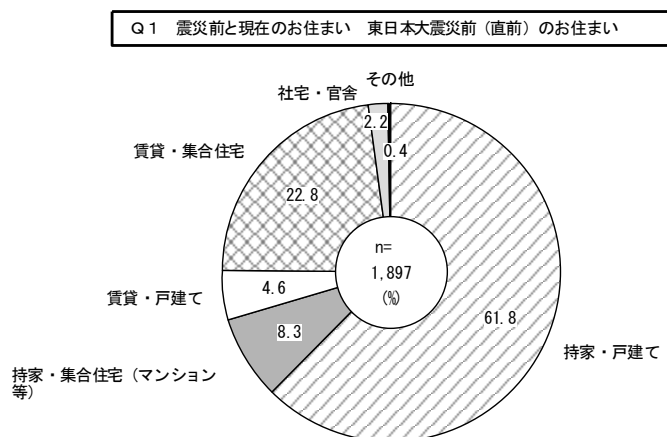


Ⅱ 単純集計結果

Q1 あなたのお住まいについておたずねします。震災前と現在について、それぞれお答えください。
(回答は1つ)

東日本大震災前（直前）のお住まいでは、「持家・戸建て」が61.8%と最も高く、次いで「賃貸・集合住宅」（22.8%）、「持家・集合住宅（マンション等）」（8.3%）となっている。

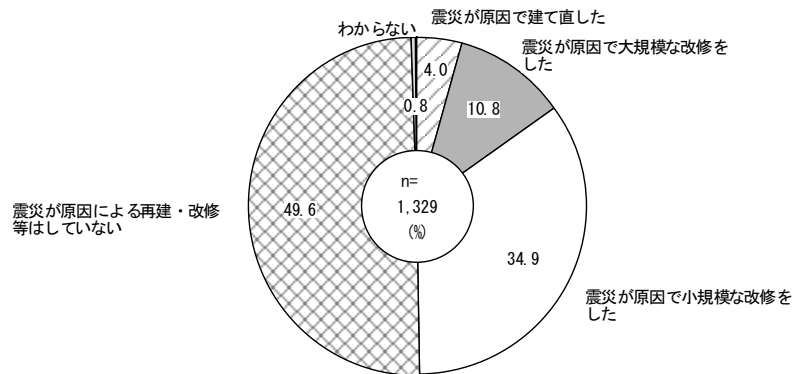
現在のお住まいでは、「持家・戸建て」が59.1%と最も高く、次いで「賃貸・集合住宅」（21.5%）、「持家・集合住宅（マンション等）」（8.1%）となっている。



Q2 あなたのお住まいは東日本大震災が原因で建て直し又は改修をしましたか。(回答は1つ)

「震災が原因による再建・改修等はない」が49.6%、建て直し又は改修については、「震災が原因で小規模な改修をした」(34.9%)、「震災が原因で大規模な改修をした」(10.8%)、「震災が原因で建て直した」(4.0%)となっている。

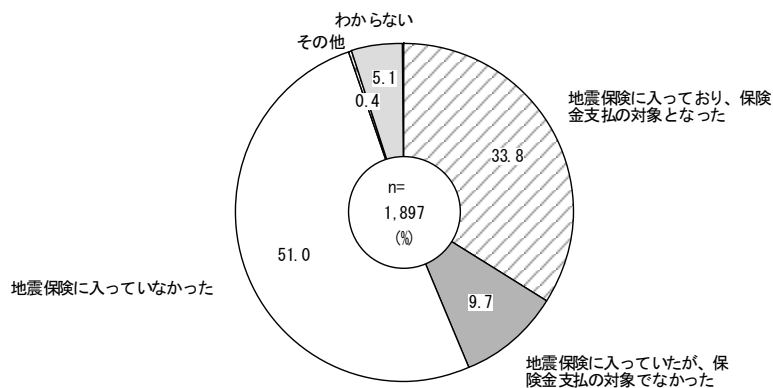
Q2 東日本大震災が原因の建て直し又は改修の状況【ベース：持家居住者】



Q3 あなたのお住まいは東日本大震災の前に地震保険に入っていましたか。(回答は1つ)

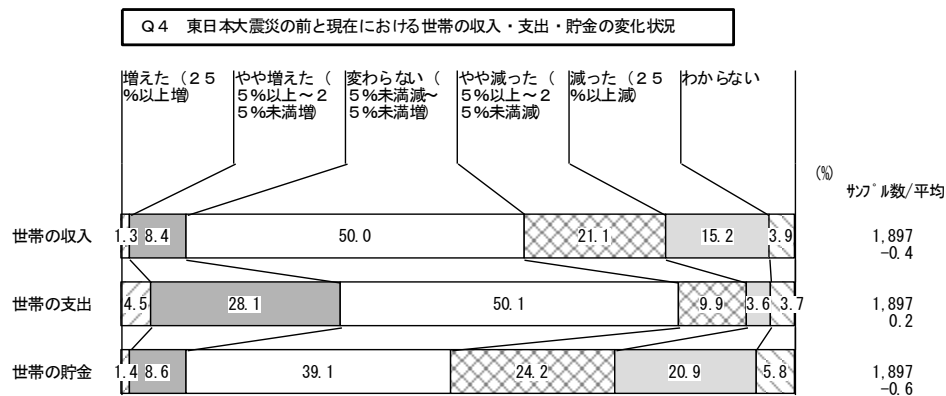
「地震保険に入っていなかった」が51.0%、「地震保険に入っており、保険金支払の対象となった」は33.8%、「震災が原因で大規模な改修をした」(10.8%)、「震災が原因で建て直した」(4.0%)となっている。

Q3 東日本大震災前の地震保険の加入状況



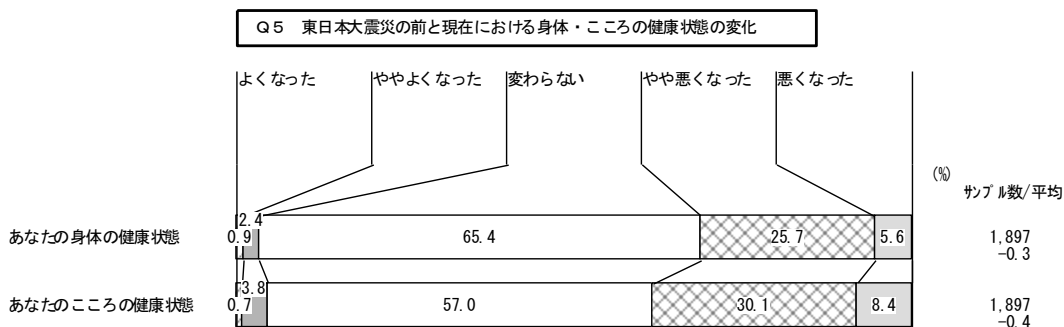
Q4 東日本大震災の前と現在を比較して、以下の項目にどのような変化がありましたか。(回答は1つ)

東日本大震災の前と現在を比較して、世帯の収入・支出・貯金のいずれも「変わらない」が最も高い。
 世帯の収入は「変わらない (5%未満減～5%未満増)」が 50.0%と最も高く、次いで「やや減った (5%以上～25%未満減)」(21.1%)、「減った (25%以上減)」(15.2%) となっている。
 世帯の支出は「変わらない」が 50.1%と最も高く、次いで「やや増えた (5%以上～25%未満増)」(28.1%)、「やや減った」(9.9%) となっている。
 世帯の貯金は「変わらない」が 39.1%と最も高く、次いで「やや減った」(24.2%)、「減った」(20.9%) となっている。



Q5 東日本大震災の前と現在を比較して、以下の項目にどのような変化がありましたか。(回答は1つ)

東日本大震災の前と現在を比較して、身体とこころの健康状態は「変わらない」が最も高い。
 身体の状態は「変わらない」が 65.4%と最も高く、次いで「やや悪くなった」(25.7%)、「悪くなった」(5.6%) となっている。
 こころの状態は「変わらない」が 57.0%と最も高く、次いで「やや悪くなった」(30.1%)、「悪くなった」(8.4%) となっている。



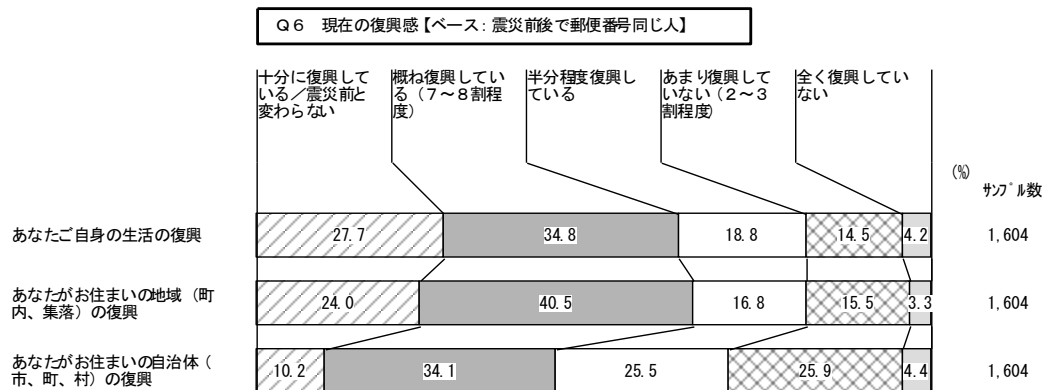
Q6 現在、あなた自身の生活の復興や、あなたがお住まいの地域や自治体の復興は、どの程度進んでいると感じますか。(回答は1つ) ■先日のアンケートで、震災前と現在のお住まいについて、同じ郵便番号をお答えの方におたずねします。

震災前と現在の住まいが変わらない人について、

自身の生活の復興は、「概ね復興している(7～8割程度)」が34.8%と最も高く、次いで「十分に復興している／震災前と変わらない」(27.7%)、「半分程度復興している」(18.8%)となっている。

お住まいの地域(町内、集落)の復興は、「概ね復興している(7～8割程度)」が40.5%と最も高く、次いで「十分に復興している／震災前と変わらない」(24.0%)、「半分程度復興している」(16.8%)となっている。

お住まいの自治体(市、町、村)の復興は、「概ね復興している(7～8割程度)」が34.1%と最も高く、次いで「あまり復興していない(2～3割程度)」(25.9%)、「半分程度復興している」(25.5%)となっている。



Q7 現在、あなた自身の生活の復興や、あなたがお住まいの地域や自治体の復興は、どの程度進んでいると感じますか。(回答は1つ) ■先日のアンケートで、震災前と現在のお住まいについて、異なる郵便番号をお答えの方におたずねします。

震災前と現在の住まいが異なる人について、

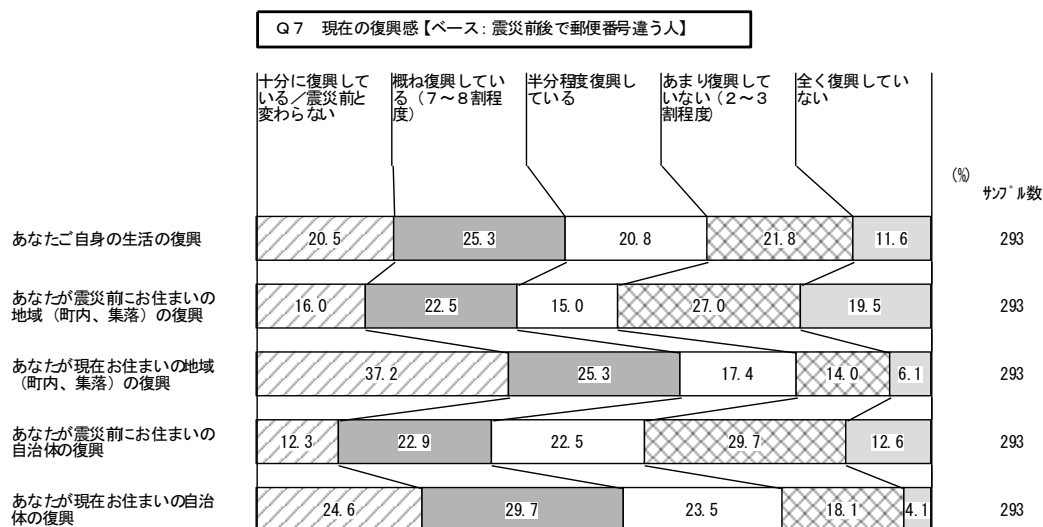
自身の生活の復興は、「概ね復興している（7～8割程度）」が25.3%と最も高く、次いで「あまり復興していない（2～3割程度）」（21.8%）、「十分に復興している／震災前と変わらない」（20.5%）となっている。

震災前にお住まいの地域（町内、集落）の復興は、「あまり復興していない（2～3割程度）」が27.0%と最も高く、次いで「概ね復興している（7～8割程度）」（22.5%）、「全く復興していない」（19.5%）となっている。

現在お住まいの地域（町内、集落）の復興は、「十分に復興している／震災前と変わらない」が37.2%と最も高く、次いで「概ね復興している（7～8割程度）」（25.3%）、「半分程度復興している」（17.4%）となっている。

震災前にお住まいの自治体（市、町、村）の復興は、「あまり復興していない（2～3割程度）」が29.7%と最も高く、次いで「概ね復興している（7～8割程度）」（22.9%）、「半分程度復興している」（22.5%）となっている。

現在お住まいの自治体（市、町、村）の復興は、「概ね復興している（7～8割程度）」が29.7%と最も高く、次いで「十分に復興している／震災前と変わらない」（24.6%）、「半分程度復興している」（23.5%）となっている。



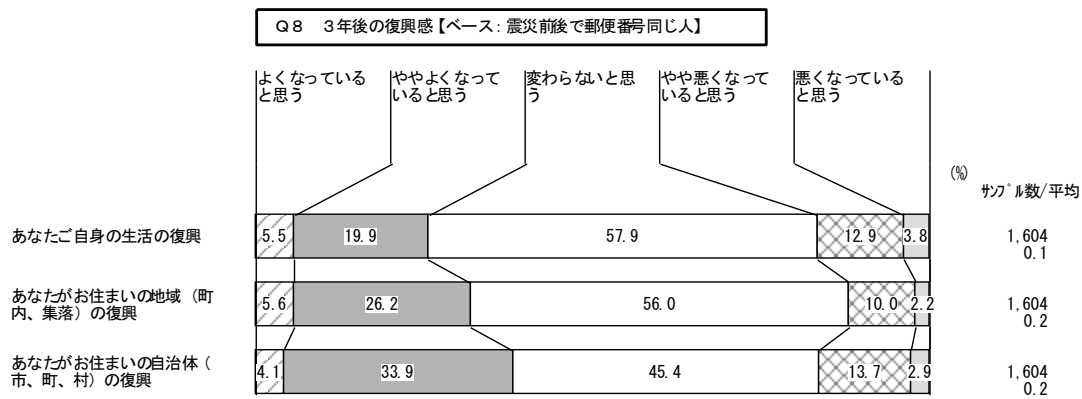
Q8 3年後のあなた自身の生活やあなたがお住まいの地域や自治体を想像した場合、今よりもよくなっていると思いますか。（回答は1つ） ■先日のアンケートで、震災前と現在のお住まいについて、同じ郵便番号をお答えの方におたずねします。

震災前と現在の住まいが変わらない人について、

3年後の自身の生活の復興は、「変わらないと思う」が57.9%と最も高く、次いで「ややよくなっていると思う」（19.9%）、「やや悪くなっていると思う」（12.9%）となっている。

3年後のお住まいの地域（町内、集落）の復興は、「変わらないと思う」が56.0%と最も高く、次いで「ややよくなっていると思う」（26.2%）、「やや悪くなっていると思う」（10.0%）となっている。

3年後のお住まいの自治体（市、町、村）の復興は、「変わらないと思う」が45.4%と最も高く、次いで「ややよくなっていると思う」（33.9%）、「やや悪くなっていると思う」（13.7%）となっている。



Q9 3年後のあなた自身の生活やあなたがお住まいの地域や自治体を想像した場合、今よりもよくなっていると思いますか。（回答は1つ） ■先日のアンケートで、震災前と現在のお住まいについて、異なる郵便番号をお答えの方におたずねします。

震災前と現在の住まいが異なる人について、

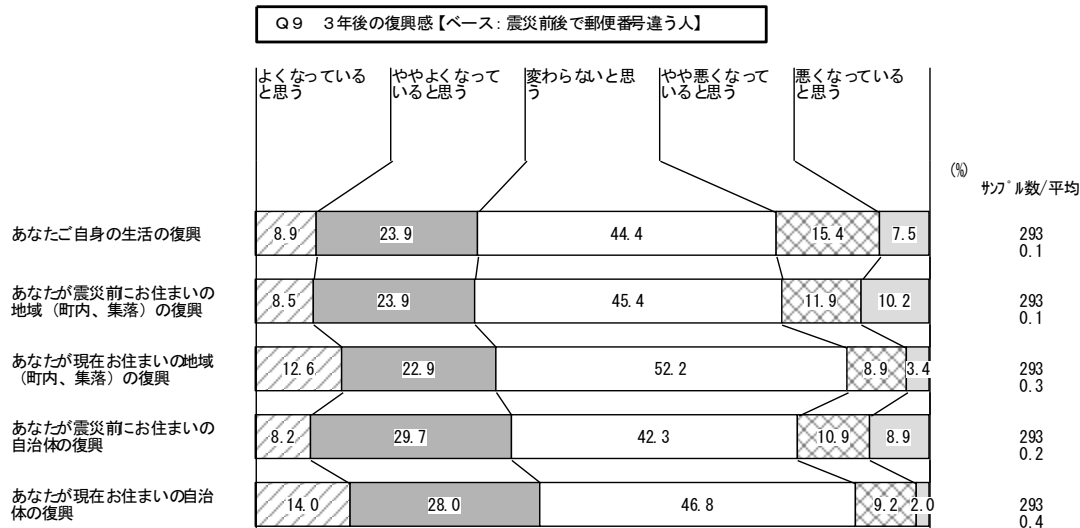
3年後の自身の生活の復興は、「変わらないと思う」が44.4%と最も高く、次いで「ややよくなっていると思う」（23.9%）、「やや悪くなっていると思う」（15.4%）となっている。

3年後の震災前にお住まいの地域（町内、集落）の復興は、「変わらないと思う」が45.4%と最も高く、次いで「ややよくなっていると思う」（23.9%）、「やや悪くなっていると思う」（11.9%）となっている。

3年後の現在お住まいの地域（町内、集落）の復興は、「変わらないと思う」が52.2%と最も高く、次いで「ややよくなっていると思う」（22.9%）、「よくなっていると思う」（12.6%）となっている。

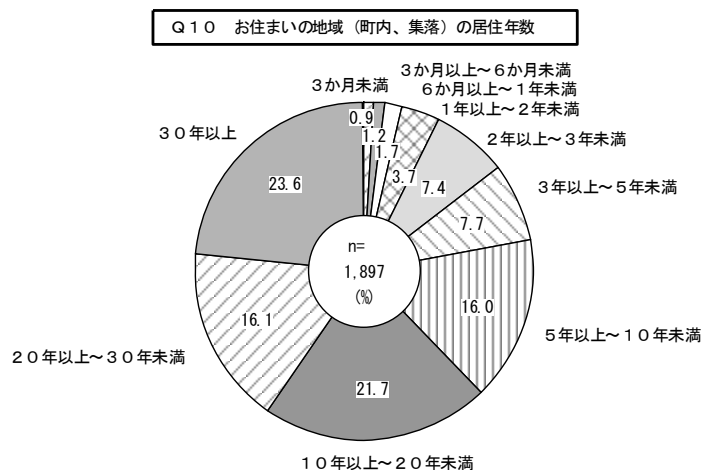
3年後の震災前にお住まいの自治体（市、町、村）の復興は、「変わらないと思う」が42.3%と最も高く、次いで「ややよくなっていると思う」（29.7%）、「やや悪くなっていると思う」（10.9%）となっている。

3年後の現在お住まいの自治体（市、町、村）の復興は、「変わらないと思う」が46.8%と最も高く、次いで「ややよくなっていると思う」（28.0%）、「やや悪くなっていると思う」（14.0%）となっている。



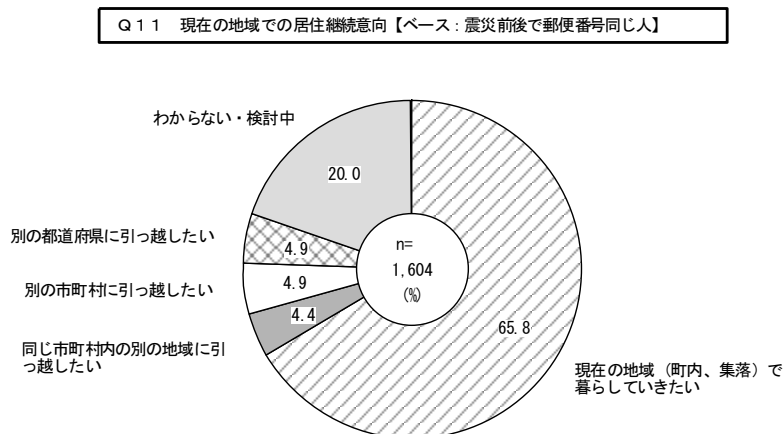
Q10 あなたは現在お住まいの地域（町内、集落）にどれくらいの期間住んでいますか。（※不在期間のある方は、通算してお答えください。）（回答は1つ）

お住まいの地域（町内、集落）の居住年数は、「30年以上」が23.6%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」（21.7%）、「20年以上～30年未満」（16.1%）となっている。



Q11 あなたはこれからも現在お住まいの地域（町内、集落）で、暮らしていきたいと思いますか。（回答は1つ） ■先日のアンケートで、震災前と現在のお住まいについて、同じ郵便番号をお答えの方におたずねします。

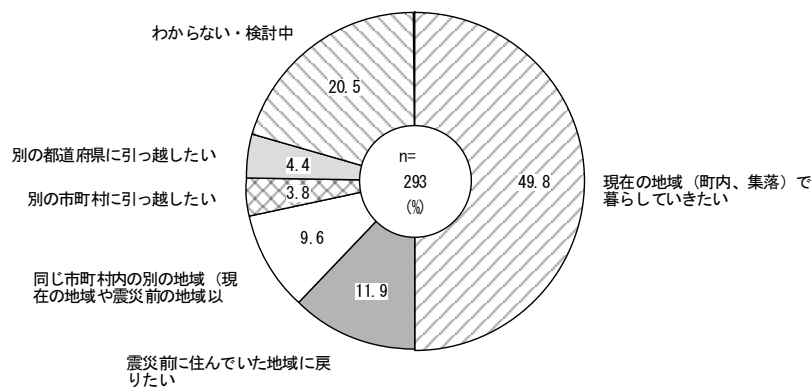
震災前と現在の住まいが同じ人で、現在の地域での居住継続意向は、「現在の地域（町内、集落）で暮らしていきたい」が65.8%と最も高く、次いで「わからない・検討中」（20.0%）、「別の都道府県に引っ越したい」（4.9%）、「別の市町村に引っ越したい」（4.9%）、「同じ市町村内の別の地域に引っ越したい」（4.4%）となっている。



Q12 あなたはこれからも現在お住まいの地域（町内、集落）で、暮らしていきたいと思いますか。（回答は1つ） ■ 先日のアンケートで、震災前と現在のお住まいについて、異なる郵便番号をお答えの方におたずねします。

震災前と現在の住まいが異なる人で、現在の地域での居住継続意向は、「現在の地域（町内、集落）で暮らしていきたい」が49.8%と最も高く、次いで「わからない・検討中」（20.5%）、「震災前に住んでいた地域に戻りたい」（11.9%）となっている。

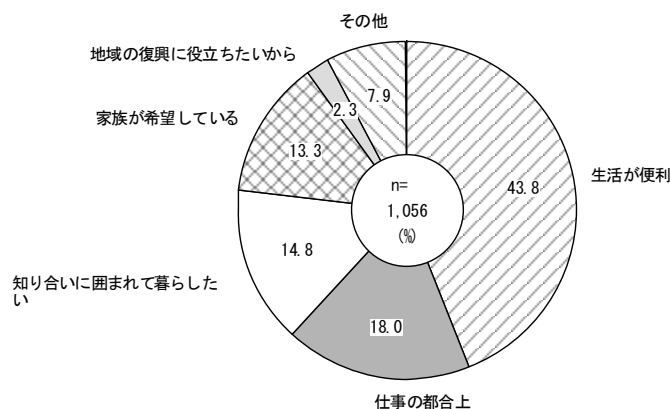
Q12 現在または震災前の地域での居住継続意向【ベース：震災前後で郵便番号違う人】



Q13 現在お住まいの地域（町内、集落）で、暮らしていきたいと思う最大の理由は何ですか。（回答は1つ） ■ 「現在の地域（町内、集落）で暮らしていきたい」とお答えの方におたずねします。

震災前と現在の住まいが同じ人で、現在の地域で暮らしていきたいと思う最大の理由は、「生活が便利」が43.8%と最も高く、次いで「仕事の都合上」（18.0%）、「知り合いに囲まれて暮らしたい」（14.8%）となっている。

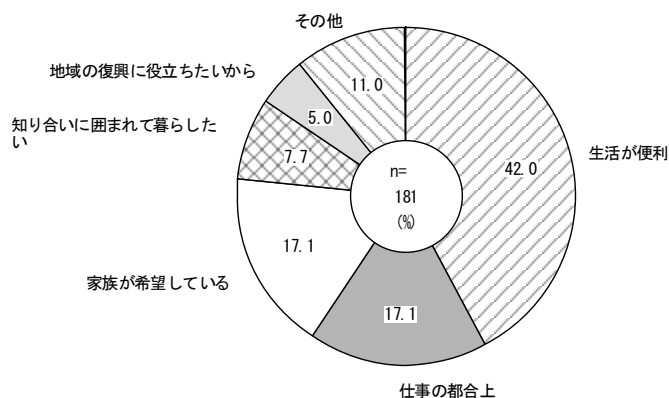
Q13 現在の地域で暮らしていきたいと思う最大の理由【ベース：震災前後で郵便番号同じ人】



Q14 現在お住まいの地域（町内、集落）または震災前の地域で、暮らしていきたいと思う最大の理由は何ですか。（回答は1つ） ■「現在の地域（町内、集落）で暮らしていきたい」「震災前に住んでいた地域に戻りたい」とお答えの方におたずねします。

震災前と現在の住まいが異なる人で、現在の地域で暮らしていきたいと思う最大の理由は、「生活が便利」が42.0%と最も高く、次いで「仕事の都合上」「家族が希望している」（ともに17.1%）となっている。

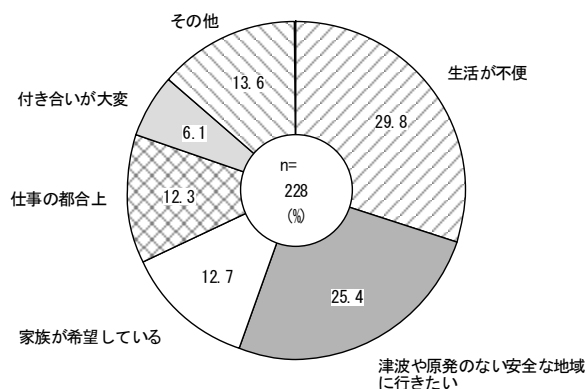
Q14 現在または震災前の地域で暮らしていきたいと思う最大の理由【ベース：震災前後で郵便番号違う人】



Q15 現在お住まいの地域（町内、集落）から引っ越したいと思う最大の理由は何ですか。（回答は1つ） ■「同じ市町村内の別の地域に引っ越したい」「別の市町村に引っ越したい」「別の都道府県に引っ越したい」とお答えの方におたずねします。

震災前と現在の住まいが同じ人で、現在の地域から引っ越したいと思う最大の理由は、「生活が不便」が29.8%と最も高く、次いで「津波や原発のない安全な地域に行きたい」（25.4%）、「その他」（13.6%）となっている。

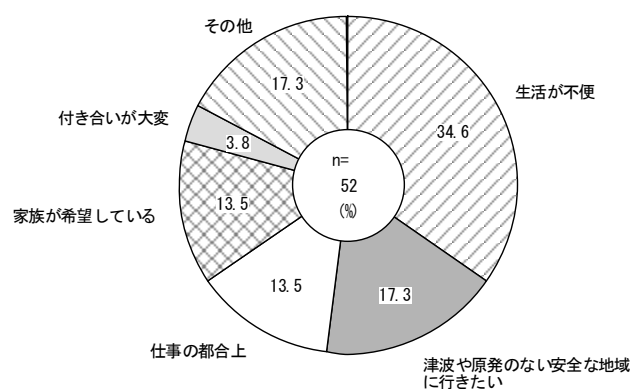
Q15 現在の地域（町内、集落）から引っ越したいと思う最大の理由【ベース：震災前後で郵便番号同じ人】



Q16 現在お住まいの地域（町内、集落）または震災前の地域から引っ越したいと思う最大の理由は何ですか。（回答は 1 つ） ■ 「同じ市町村内の別の地域（現在の地域や震災前の地域以外）に引っ越したい」「別の市町村に引っ越したい」「別の都道府県に引っ越したい」とお答えの方におたずねします。

震災前と現在の住まいが異なる人で、現在の地域から引っ越したいと思う最大の理由は、「生活が不便」が 34.6%と最も高く、次いで「津波や原発のない安全な地域に行きたい」「その他」（ともに 17.3%）となっている。

Q 1 6 現在または震災前の地域から引っ越したいと思う最大の理由【ベース：震災前後で郵便番号違う人】



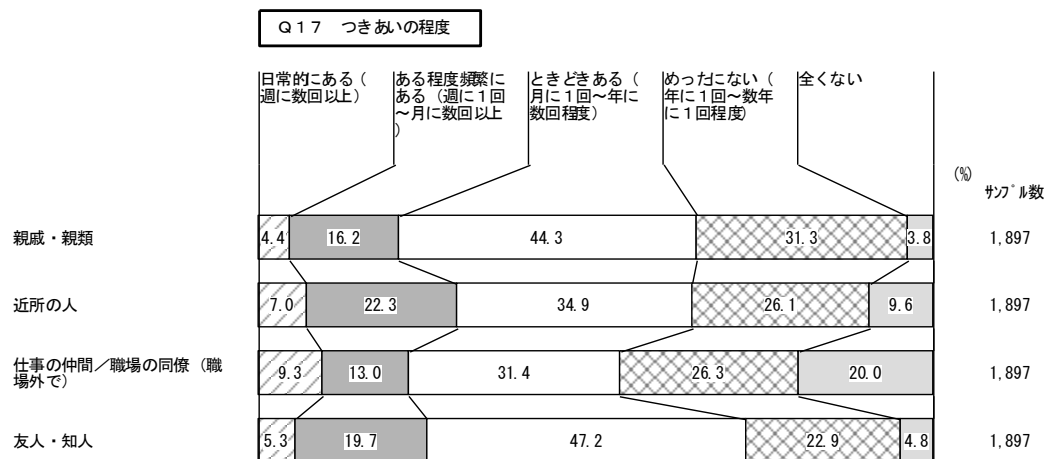
Q17 あなたは現在、次の人とどの程度の頻度でつきあいをされていますか。（回答は1つ）

親戚・親類とのつきあいについて、「ときどきある（月に1回～年に数回程度）」が44.3%と最も高く、次いで「めったにない（年に1回～数年に1回程度）」（31.3%）、「ある程度頻繁にある（週に1回～月に数回以上）」（16.2%）となっている。

近所の人とのつきあいについて、「ときどきある」が34.9%と最も高く、次いで「めったにない（年に1回～数年に1回程度）」（26.1%）、「ある程度頻繁にある」（22.3%）となっている。

仕事の仲間／職場の同僚（職場外で）とのつきあいについて、「ときどきある」が31.4%と最も高く、次いで「めったにない」（26.3%）、「全くない」（20.0%）となっている。

友人・知人とのつきあいについて、「ときどきある」が47.2%と最も高く、次いで「めったにない」（22.9%）、「ある程度頻繁にある」（19.7%）となっている。



Q18 あなたは震災の前後で、次の人とのつきあいは増えましたか、減りましたか。(回答は1つ)

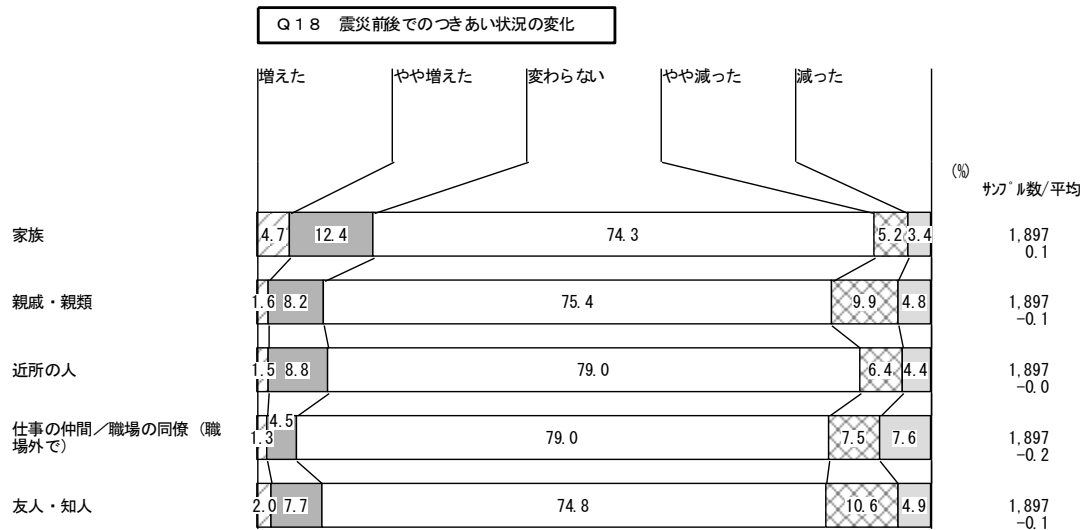
家族とのつきあいについて、「変わらない」が74.3%と最も高く、次いで「やや増えた」(12.4%)、「やや減った」(5.2%)となっている。

親戚・親類とのつきあいについて、「変わらない」が75.4%と最も高く、次いで「やや減った」(9.9%)、「やや増えた」(8.2%)となっている。

近所の人とのつきあいについて、「変わらない」が79.0%と最も高く、次いで「やや増えた」(8.8%)、「やや減った」(6.4%)となっている。

仕事の仲間／職場の同僚（職場外で）とのつきあいについて、「変わらない」が79.0%と最も高く、次いで「減った」(7.6%)、「やや減った」(7.5%)となっている。

友人・知人とのつきあいについて、「変わらない」が74.8%と最も高く、次いで「やや減った」(10.6%)、「やや増えた」(7.7%)となっている。



Q19 あなたは以下のようなことについて、家族や親戚以外の地域の知り合いで、実際に手伝ってくれたり、相談に乗ってくれる人はいますか。(回答は1つ)

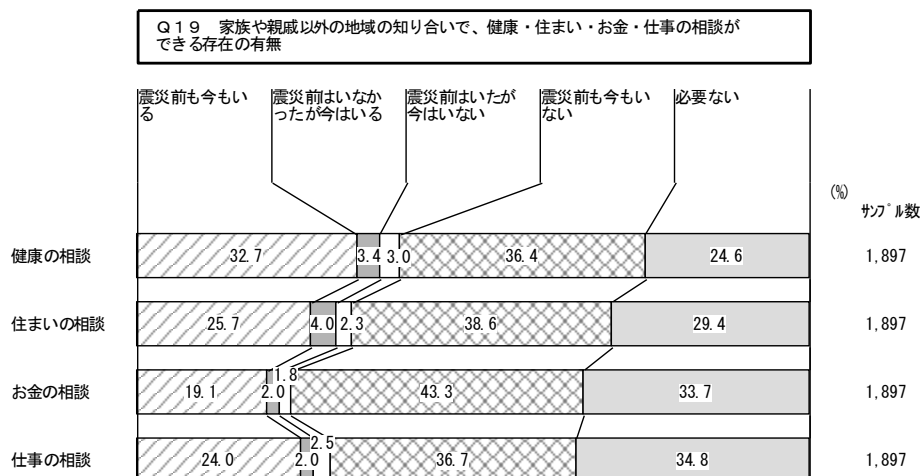
家族や親戚以外の地域の知り合いで、

健康の相談に乗ってくれる人は「震災前も今もない」が36.4%と最も高く、次いで「震災前も今もいる」(32.7%)、「必要ない」(24.6%)となっている。

住まいの相談に乗ってくれる人は「震災前も今もない」が38.6%と最も高く、次いで「必要ない」(29.4%)、「震災前も今もいる」(25.7%)となっている。

お金の相談に乗ってくれる人は「震災前も今もない」が43.3%と最も高く、次いで「必要ない」(33.7%)、「震災前も今もいる」(19.1%)となっている。

仕事の相談に乗ってくれる人は「震災前も今もない」が36.7%と最も高く、次いで「必要ない」(34.8%)、「震災前も今もいる」(24.0%)となっている。

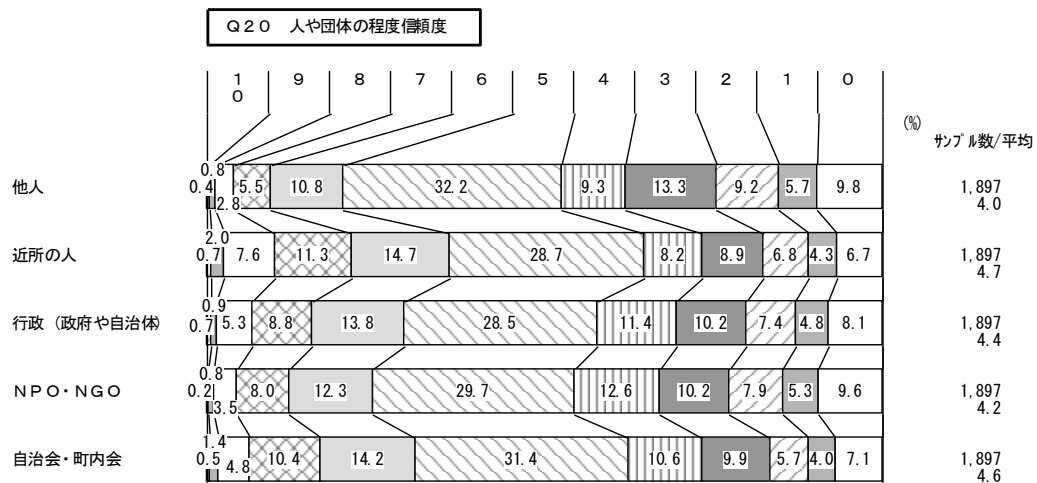


Q20 あなたは以下の人や団体をどの程度信頼していますか。(回答は横の行ごとに1つずつ)

信頼度を0（全く信頼していない）から10（大いに信頼している）までの段階で聞いたところ、他人の信頼度は「5」が32.2%と最も高く、次いで「3」（13.3%）、「6」（10.8%）となっている。近所の人々の信頼度は「5」が28.7%と最も高く、次いで「6」（14.7%）、「7」（11.3%）となっている。行政（政府や自治体）の信頼度は「5」が32.2%と最も高く、次いで「3」（13.3%）、「6」（10.8%）となっている。

NPO・NGOの信頼度は「5」が29.7%と最も高く、次いで「4」（12.6%）、「6」（12.3%）となっている。

自治会・町内会の信頼度は「5」が31.4%と最も高く、次いで「6」（14.2%）、「4」（10.6%）となっている。



Q21 あなたは以下の活動をどの程度の頻度で行っていますか。震災前と現在（震災後）についてそれぞれお答えください。（回答は1つ）

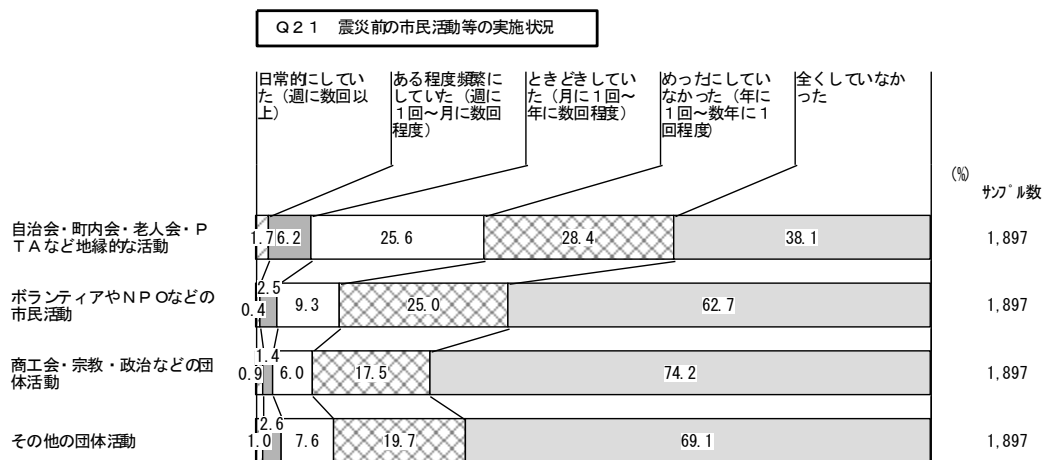
震災前において、

自治会・町内会・老人会・PTAなど地縁的な活動について、「全くしていなかった」が38.1%と最も高く、次いで「めったにない（年に1回～数年に1回程度）」（28.4%）、「ときどきしていた（月に1回～年に数回程度）」（25.6%）となっている。

ボランティアやNPOなどの市民活動について、「全くしていなかった」が62.7%と最も高く、次いで「めったにない（年に1回～数年に1回程度）」（25.0%）、「ときどきしていた（月に1回～年に数回程度）」（9.3%）となっている。

商工会・宗教・政治などの団体活動について、「全くしていなかった」が74.2%と最も高く、次いで「めったにない（年に1回～数年に1回程度）」（17.5%）、「ときどきしていた（月に1回～年に数回程度）」（6.0%）となっている。

その他の団体活動について、「全くしていなかった」が69.1%と最も高く、次いで「めったにない（年に1回～数年に1回程度）」（19.7%）、「ときどきしていた（月に1回～年に数回程度）」（7.6%）となっている。



Q22 あなたは以下の活動をどの程度の頻度で行っていますか。震災前と現在（震災後）についてそれぞれお答え下さい。（回答は1つ）

現在において、

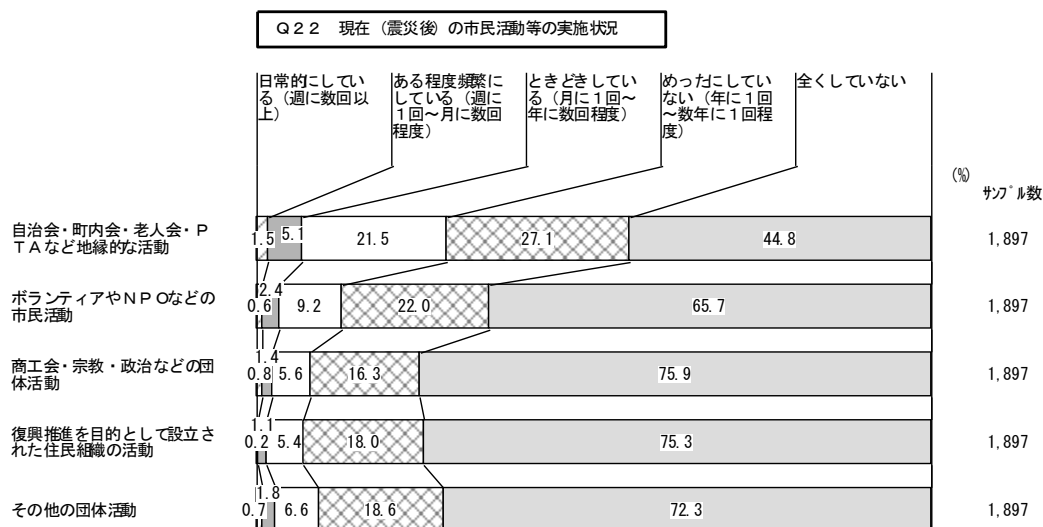
自治会・町内会・老人会・PTAなど地縁的な活動について、「全くしていなかった」が44.8%と最も高く、次いで「めったにない（年に1回～数年に1回程度）」（27.1%）、「ときどきしていた（月に1回～年に数回程度）」（21.5%）となっている。

ボランティアやNPOなどの市民活動について、「全くしていなかった」が65.7%と最も高く、次いで「めったにない（年に1回～数年に1回程度）」（22.0%）、「ときどきしていた（月に1回～年に数回程度）」（9.2%）となっている。

商工会・宗教・政治などの団体活動について、「全くしていなかった」が75.9%と最も高く、次いで「めったにない（年に1回～数年に1回程度）」（16.3%）、「ときどきしていた（月に1回～年に数回程度）」（5.6%）となっている。

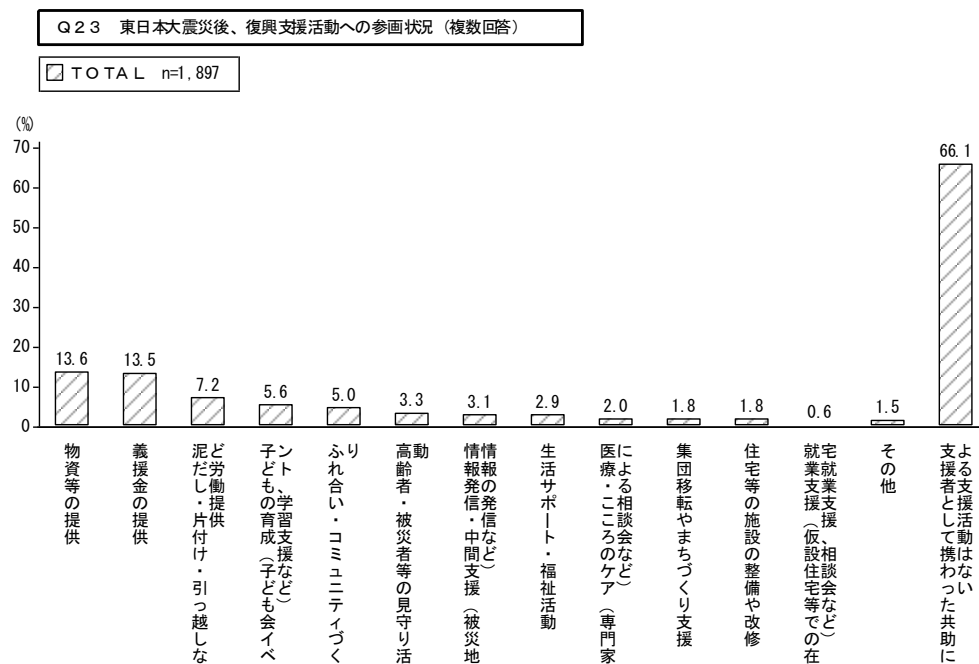
復興推進を目的として設立された住民組織の活動について、「全くしていなかった」が75.3%と最も高く、次いで「めったにない（年に1回～数年に1回程度）」（18.0%）、「ときどきしていた（月に1回～年に数回程度）」（5.4%）となっている。

その他の団体活動について、「全くしていなかった」が72.3%と最も高く、次いで「めったにない（年に1回～数年に1回程度）」（18.6%）、「ときどきしていた（月に1回～年に数回程度）」（6.6%）となっている。



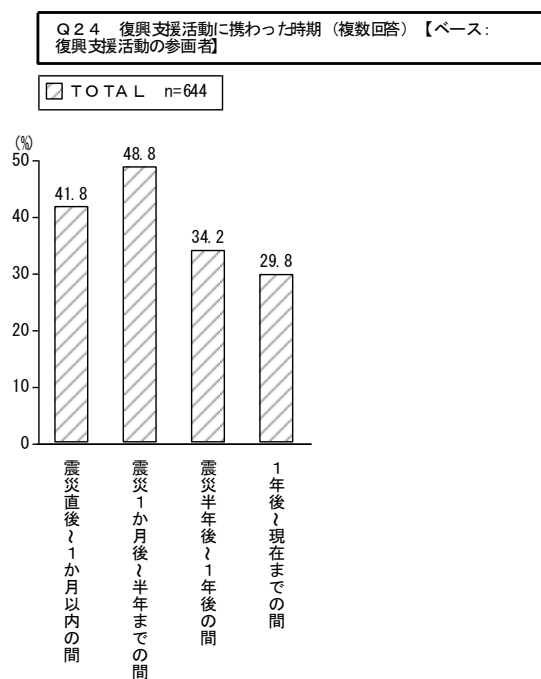
Q23 東日本大震災後、あなたは、復興を支援する次のような共助（助け合い）による支援活動に支援者として携わりましたか。あてはまるものをすべてお答えください。（回答はいくつでも）

「支援者として携わった共助による支援活動はない」が 66.1%と最も高く、支援活動では、次いで「物資等の提供」（13.6%）、「義援金の提供」（13.5%）となっている。



Q24 あなたが Q23 でお答えの復興支援活動に携わった時期は概ねいつ頃ですか。あてはまる時期をすべてお答えください。(回答はいくつでも)

支援活動に携わった時期は、「震災 1 か月後～半年までの間」が 48.8%と最も高く、次いで「震災直後から 1 か月以内の間」(41.8%)、「震災半年後～1 年後の間」(34.2%) となっている。

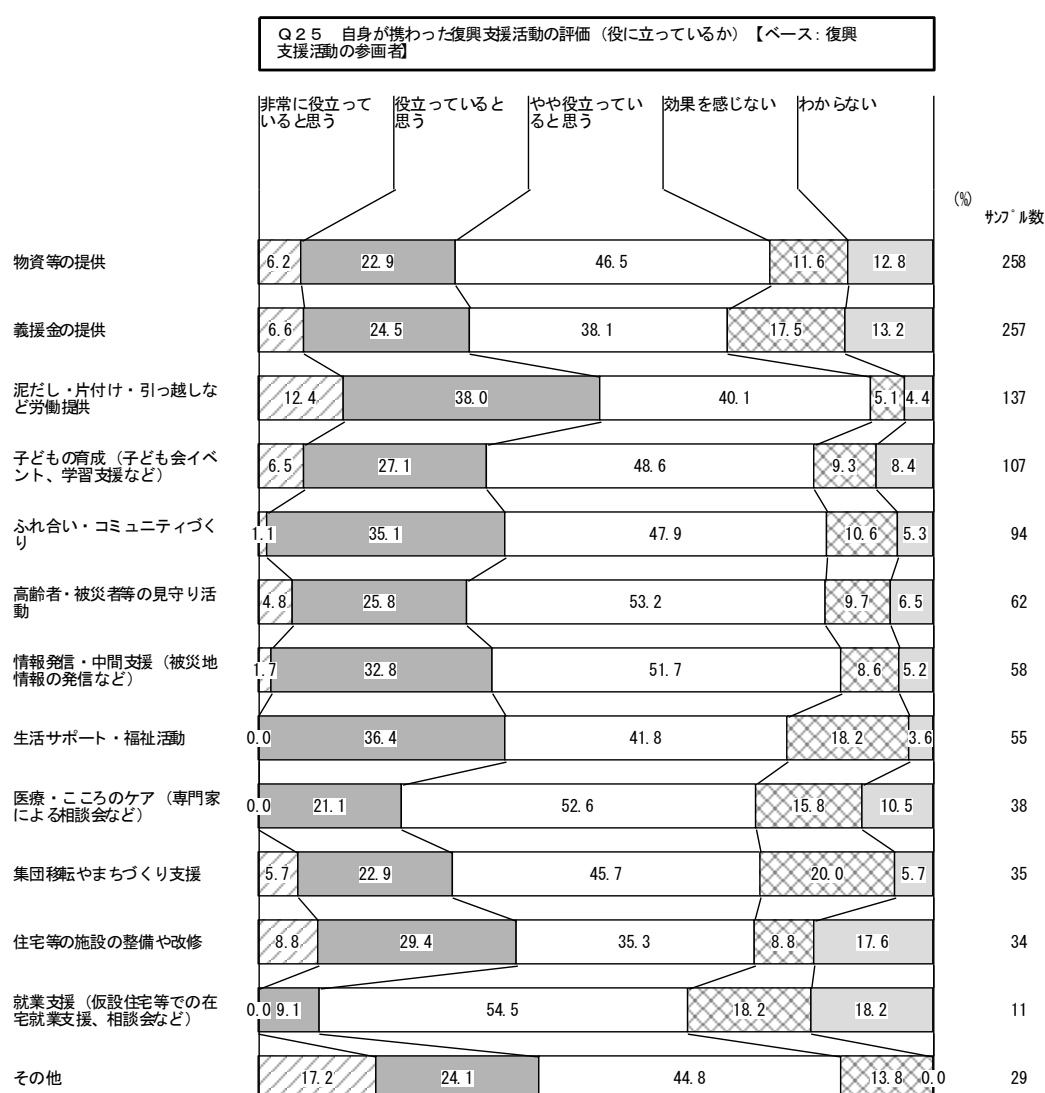


Q25 あなたが「携わった」と答えた支援活動は、被災者の生活再建や地域の復興にどの程度役立っていると思いますか。(回答は1つ)

携わった支援活動について、それぞれどの程度役立ったかを聞いたところ、いずれの支援活動も「やや役立っていると思う」が最も高い。

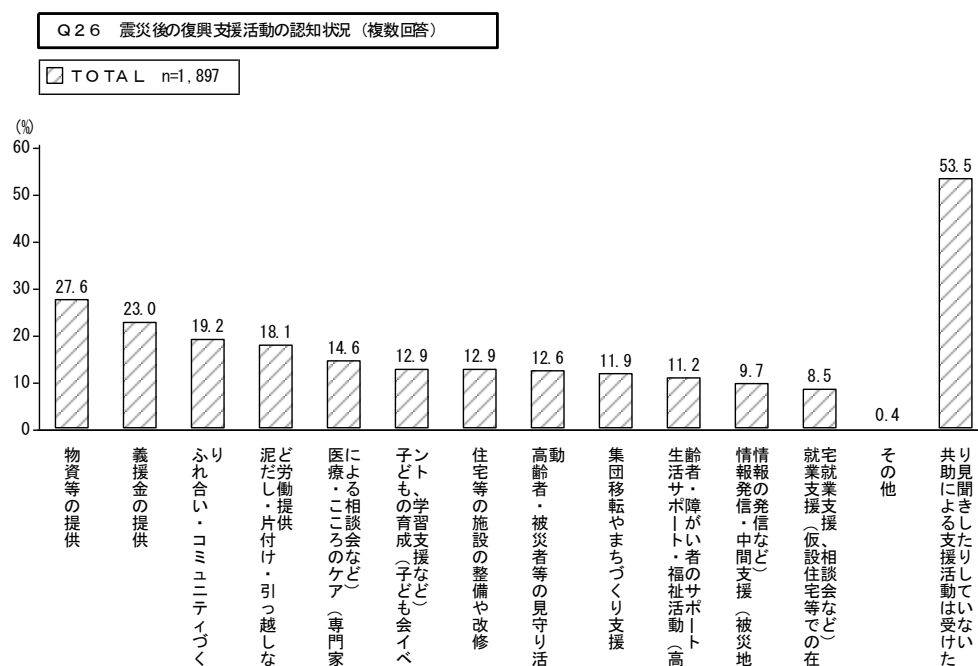
支援活動の中で「非常に役立っていると思う」が高い活動は、『泥だし・片付け・引っ越しなど労働提供』(12.4%)、『住宅等の施設の整備や改修』(8.8%)となっている。「役立っていると思う」が高い活動は、『泥だし・片付け・引っ越しなど労働提供』(38.0%)、『生活サポート・福祉活動』(36.4%)、『ふれ合い・コミュニティづくり』(35.1%)となっている。

(就業支援(仮設住宅等での在宅就業支援、相談会など)、その他はサンプル数が小さいため参考値)



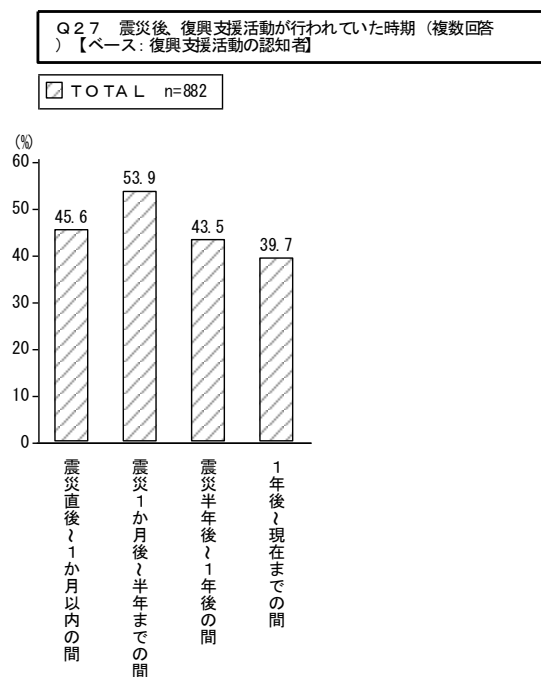
Q26 震災後、あなた自身の生活再建や現在住んでいる地域（町内、集落）の復興を支援する次のような共助（助け合い）による支援活動を受けたり見聞きしたりしましたか。知っているものすべてをお答えください。（回答はいくつでも） ■あなた自身の生活再建や現在住んでいる地域（町内、集落）についておたずねします。

受けた支援活動について聞いたところ、「共助による支援活動は受けたり見聞きしたりしていない」が53.5%と最も高い。受けた支援活動では、「物資等の提供」（27.6%）、「義援金の提供」（23.0%）、「ふれ合い・コミュニティづくり」（19.2%）となっている。



Q27 震災後、あなた自身の生活再建や現在住んでいる地域（町内、集落）の復興を支援する共助（助け合い）による支援活動は概ねいつ頃行われていましたか。見聞きしたことのある活動も含めて、およその時期としてあてはまるものをすべてお答えください。（回答はいくつでも）

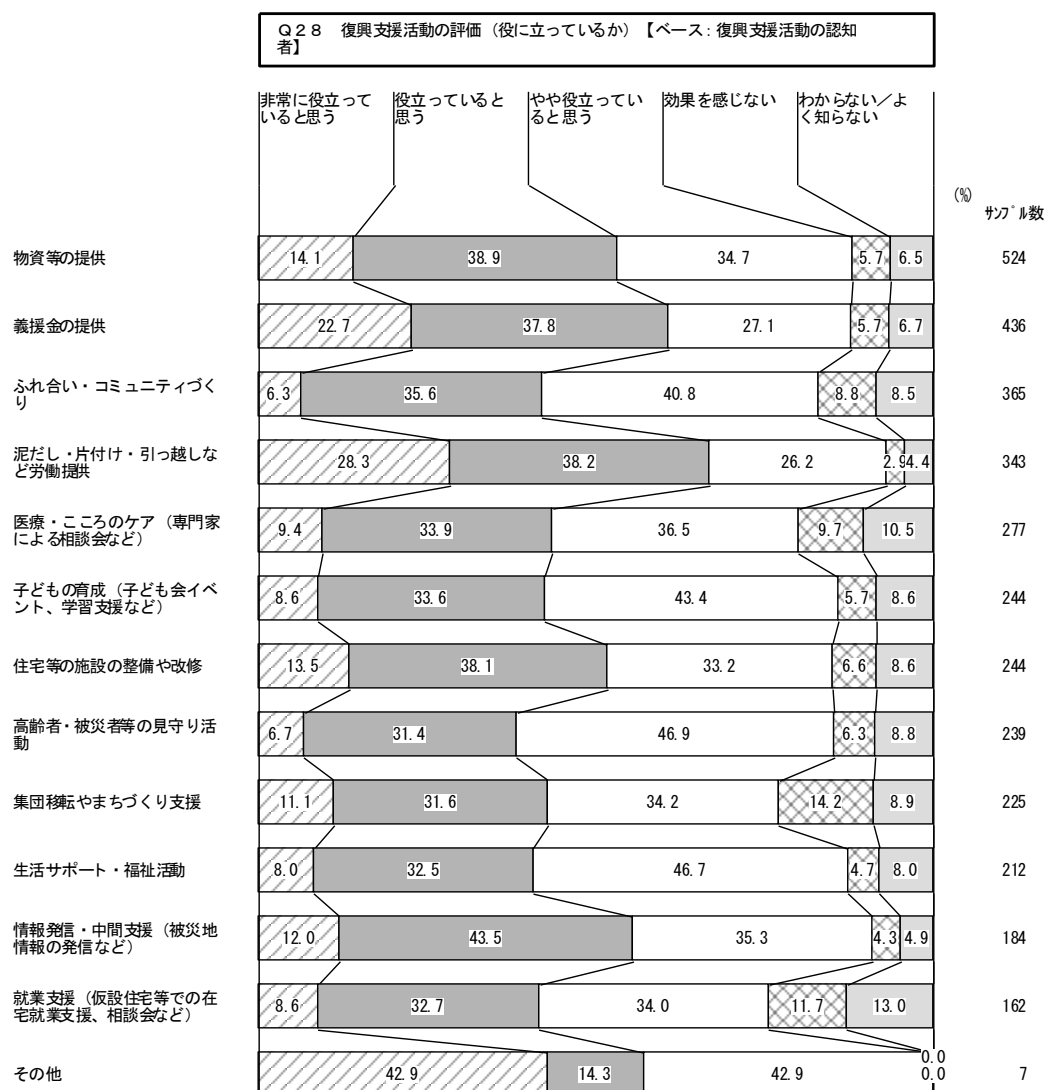
支援活動が行われていた（見聞きした）時期は、「震災1か月後～半年までの間」が53.9%と最も高く、次いで「震災直後から1か月以内の間」（45.6%）、「震災半年後～1年後の間」（43.5%）となっている。



Q28 あなたが震災後「ある」とお答えいただいた支援活動は、あなた自身の生活再建や現在住んでいる地域（町内、集落）の復興にどの程度役立っていると思いますか。（回答は1つ）

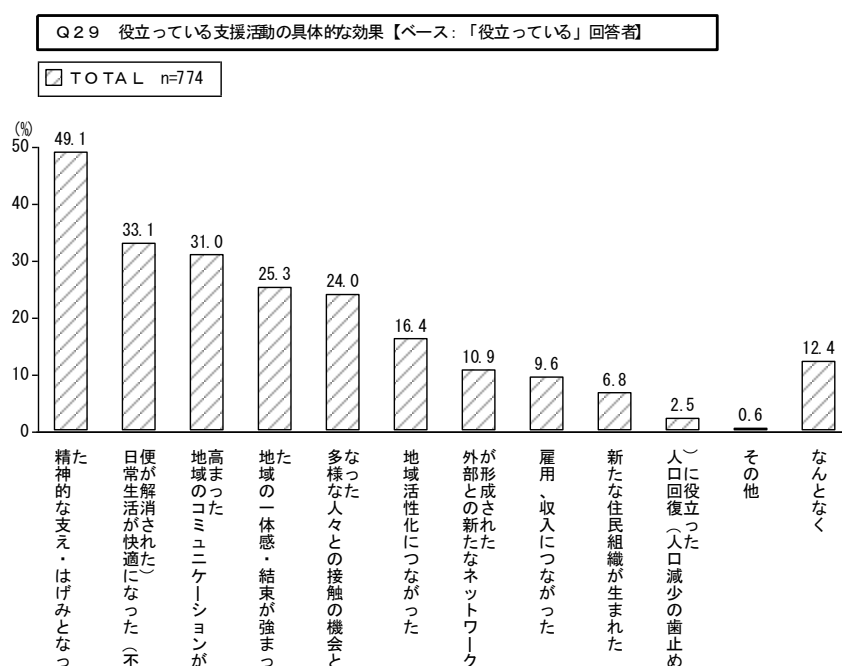
受けた支援活動について、それぞれの程度役立ったかを聞いたところ、『物資等の提供』、『義援金の提供』、『泥だし・片付け・引っ越しなど労働提供』、『住宅等の施設の整備や改修』、『情報発信・中間支援（被災地情報の発信など）』では「役立っていると思う」が最も高い。それ以外の活動では「やや役立っていると思う」が最も高い。

支援活動の中で「非常に役立っていると思う」が高い活動は、『泥だし・片付け・引っ越しなど労働提供』（28.3%）、『義援金の提供』（22.7%）、『物資等の提供』（14.1%）となっている。「役立っていると思う」が高い活動は、『情報発信・中間支援（被災地情報の発信など）』（43.5%）、『泥だし・片付け・引っ越しなど労働提供』（38.2%）、『物資等の提供』（38.9%）、『義援金の提供』（37.8%）となっている。（その他はサンプル数が小さいため参考値）



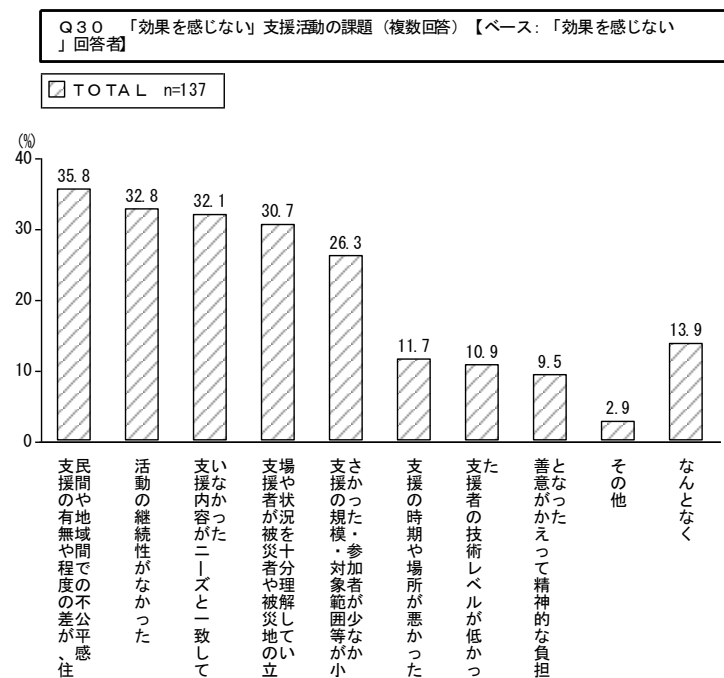
Q29 役立っているとお答えいただいた支援活動は、どのような具体的な効果がありましたか。個人的な感想でも地域にとっての評価でもかまいません。あてはまるものをすべてお答えください。（回答はいくつでも）

役だっている支援活動の具体的な効果は、「精神的な支え・はげみとなった」が49.1%と最も高く、次いで「日常生活が快適になった（不便が解消された）」（33.1%）、「地域の一体感・結束が強まった」（25.3%）となっている。



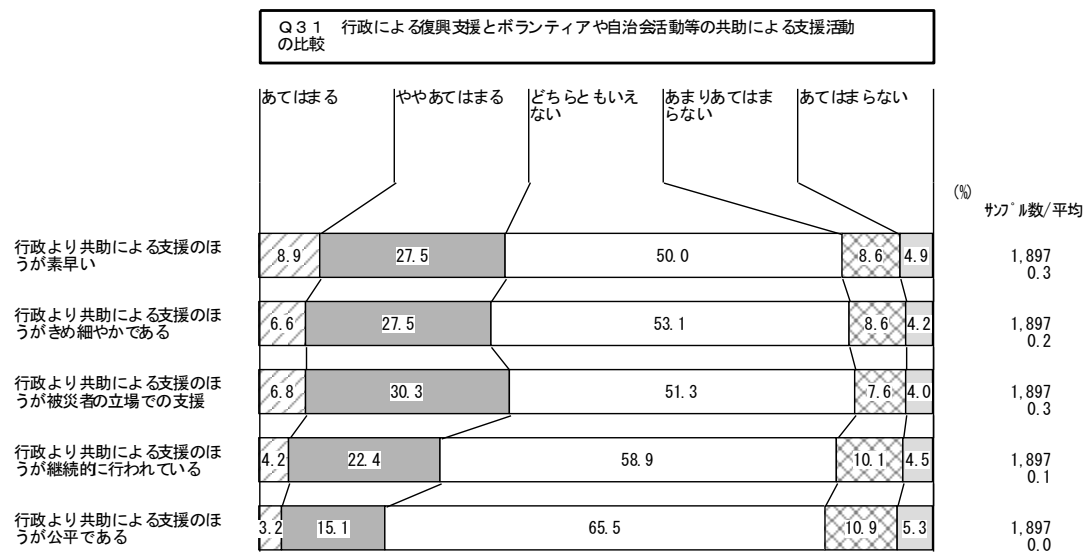
Q30 あなたが「効果を感じない」と答えた支援活動は、どのような点が課題ですか。個人的な感想でも地域にとっての評価でもかまいません。あてはまるものをすべてお答えください。（回答はいくつでも）

「効果を感じない」支援活動の課題は、「支援の有無や程度の差が住民間や地域間での不公平感を招いた」が **35.8%**と最も高く、次いで「活動の継続性がなかった」（32.8%）、「支援内容がニーズと一致していなかった」（32.1%）となっている。



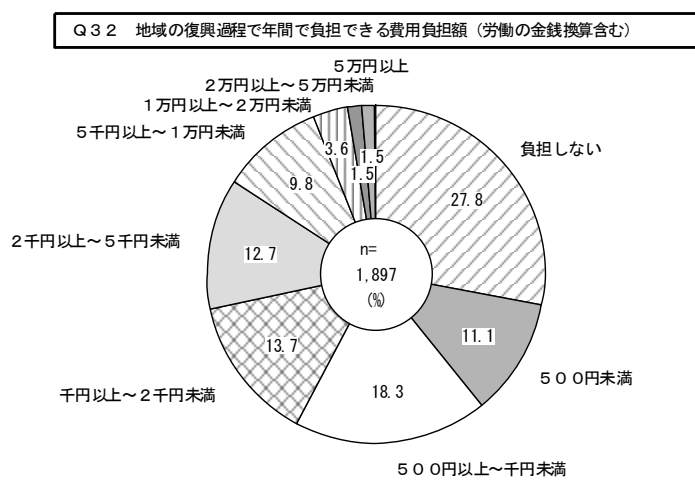
Q31 行政（政府・自治体）による復興支援とボランティアや自治会活動等の共助（助け合い）による支援活動を比較して、あなたはどのように思いますか。（回答は1つ）

行政（政府・自治体）による復興支援とボランティアや自治会活動等の共助（助け合い）による支援活動を比較した5つの設問について、いずれも「どちらともいえない」が半数以上を占め、最も高い。『行政より共助による支援のほうが被災者の立場に立った支援である』では、「あてはまる」「ややあてはまる」の合計が37.1%を占めている。また、『行政より共助による支援のほうが素早い』では、「あてはまる」「ややあてはまる」の合計が36.4%となっている。



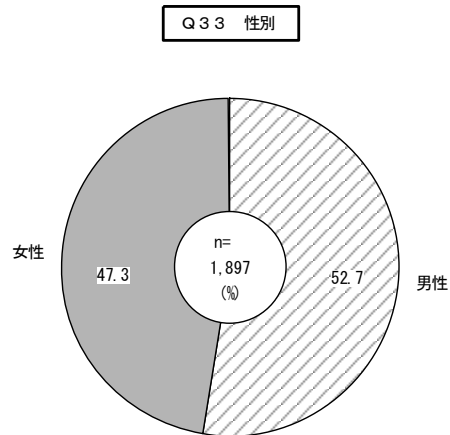
Q32 あなたの住んでいる地域の復興過程においては、被災者の生活再建や復興まちづくりなど、みんなで協力し推進していくべきさまざまなものがあります。そのために必要な費用や労働の提供を求められたら、あなたはどの程度、協力しようと思いますか。今後数年間こうした協力が求められるとして、あなたが年間で負担できる費用負担額を（労働提供できる場合はそれを金額に換算して）お答えください。（回答は1つ）

地域の復興過程において、年間で負担できる費用負担額を聞いたところ、「負担しない」が27.8%と最も高く、次いで「500円～千円未満」（18.3%）、「千円以上～2千円未満」（13.7%）となっている。



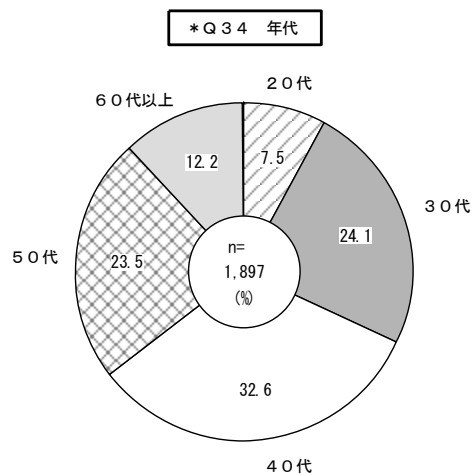
Q33 あなたの性別をお答えください。(回答は1つ)

性別は、「男性」が52.7%、「女性」が47.3%となっている。



Q34 あなたの年齢をお答えください。(回答は半角数字で入力)

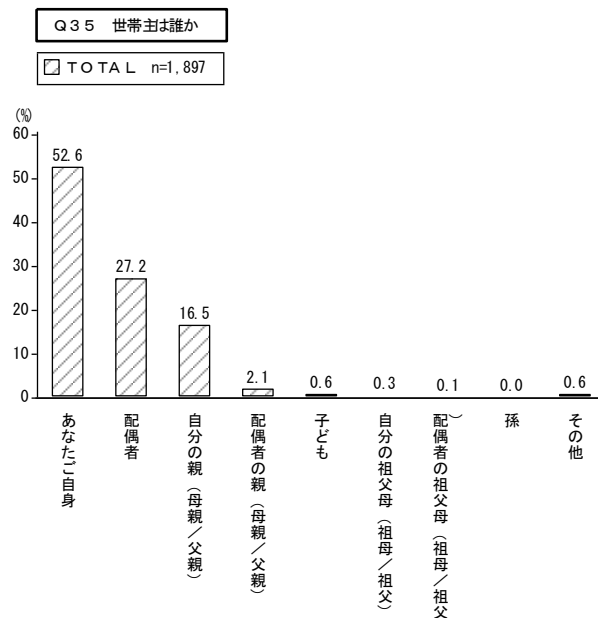
回答者の年代は、「40代」が32.6%と最も高く、次いで「30代」(24.1%)、「50代」(23.5%)となっている。



[Q35_1]世帯主（回答はひとつ）－Q35 世帯主はどなたですか。

また、あなたは現在、誰と同居していますか。同居家族をお答えください。

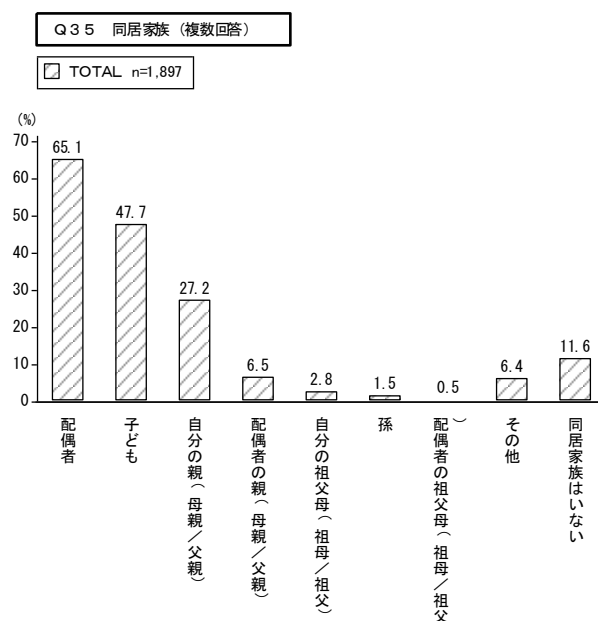
世帯主は、「あなたご自身」が 52.6%と最も高く、次いで「配偶者」(27.2%)、「自分の親（母親／父親）」(16.5%) となっている。



[Q35_2]同居家族（回答はいくつでも）－Q35 世帯主はどなたですか。

また、あなたは現在、誰と同居していますか。同居家族をお答えください。

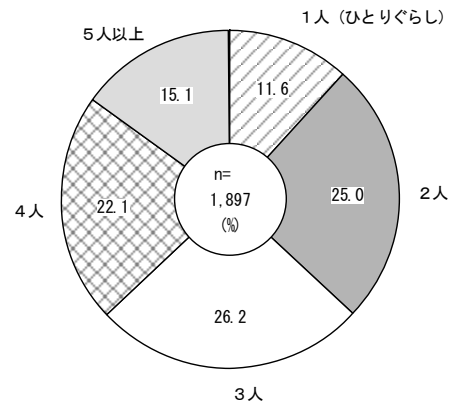
同居家族では、「配偶者」が 65.1%と最も高く、次いで「子ども」(47.7%)、「自分の親（母親／父親）」(27.2%) となっている。



Q36 同居している家族人数（あなたご自身を含む）をお答えください。（回答は半角数字で入力）

同居している家族人数は、「3人」が26.2%と最も高く、次いで「2人」（25.0%）、「4人」（22.1%）となっている。

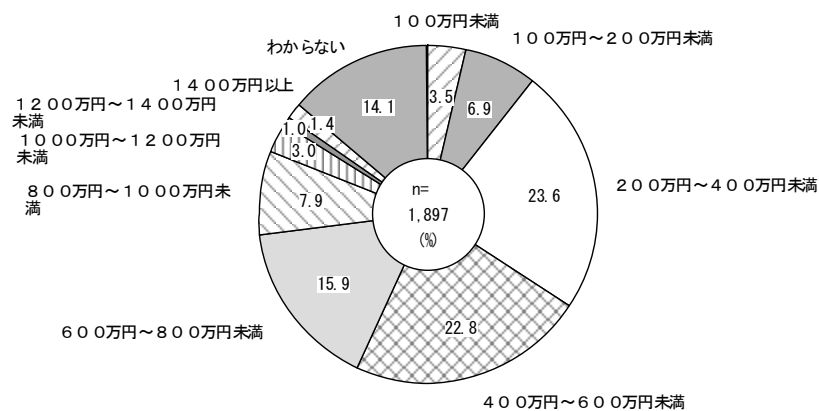
* Q 3 6 同居している家族人数（あなたご自身を含む）



Q37 あなたの世帯全体の昨年（2012年1月～12月）1年間の世帯年収（税込み）はおよそどのくらいになりますか。ボーナスや臨時収入、年金を含めて

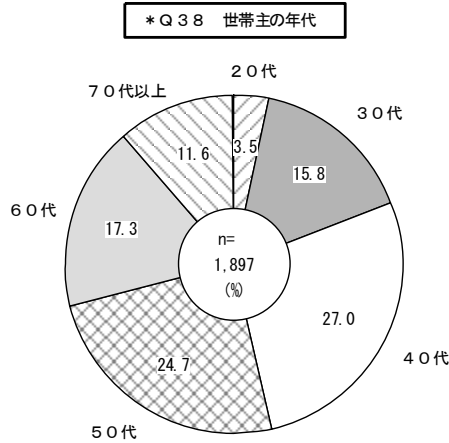
世帯年収は、「200万円～400万円未満」が23.6%と最も高く、次いで「400万円～600万円未満」（22.8%）、「600万円～800万円未満」（15.9%）となっている。

Q 3 7 世帯全体の昨年（2012年1月～12月）1年間の世帯年収（税込み）



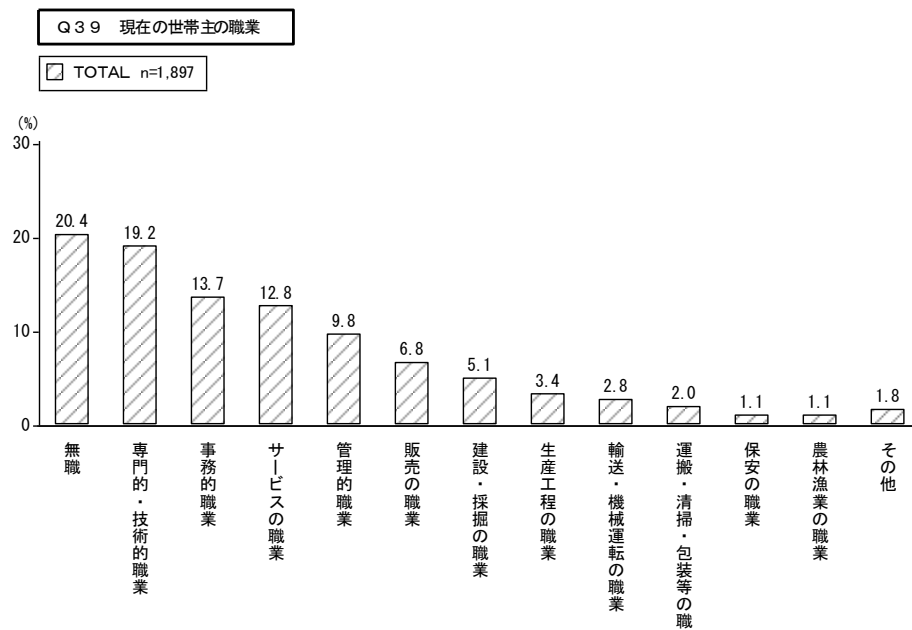
Q38 あなたのご家庭の世帯主の年齢を教えてください。(回答は半角数字で入力)

世帯主の年代は、「40代」が27.0%と最も高く、次いで「50代」(24.7%)、「60代」(17.3%)となっている。



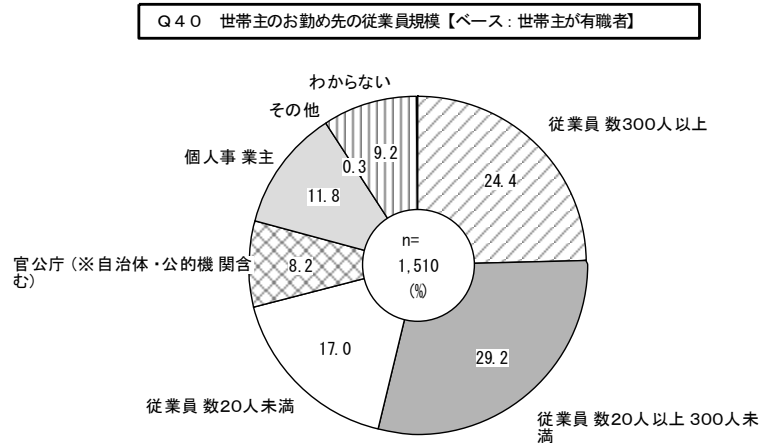
Q39 現在のあなたのご家庭の世帯主の職業を教えてください。(回答は1つ)

現在の世帯主の職業は、「無職」が20.4%と最も高く、次いで「専門的・技術的職業」(19.2%)、「事務的職業」(13.7%)となっている。



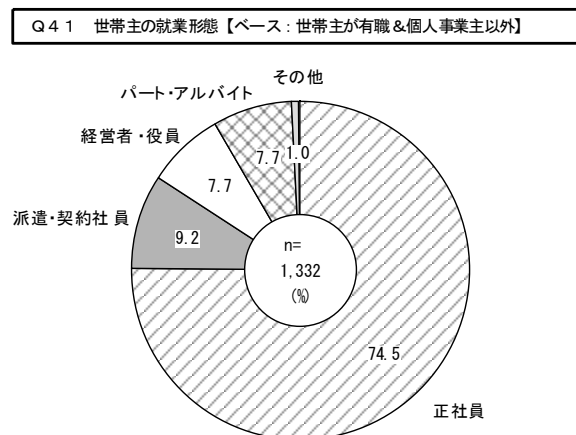
Q40 世帯主の方のお勤め先の従業員規模をお答えください。(回答は1つ)

世帯主の勤め先の従業員規模は、「従業員数 20 人以上 300 人未満」が 29.2%と最も高く、次いで「従業員数 300 人以上」(24.4%)、「従業員数 20 人未満」(17.0%) となっている。



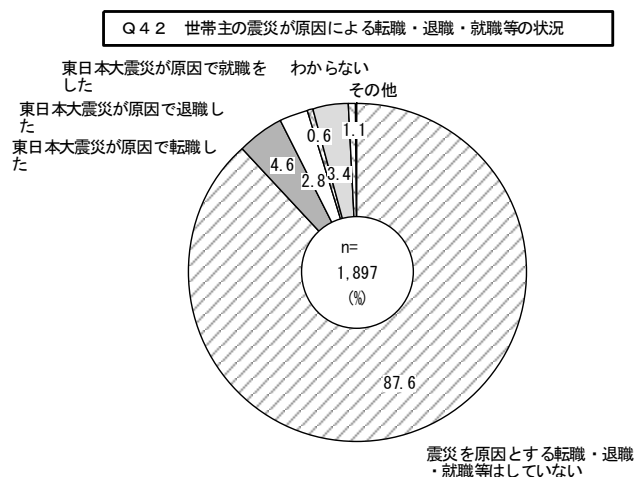
Q41 世帯主の方の就業形態をお答えください。(回答は1つ)

世帯主の就業形態は、「正社員」が 74.5%と最も高く、次いで「派遣・契約社員」(9.2%)、「経営者・役員」(7.7%)、「パート・アルバイト」(ともに 7.7%) となっている。



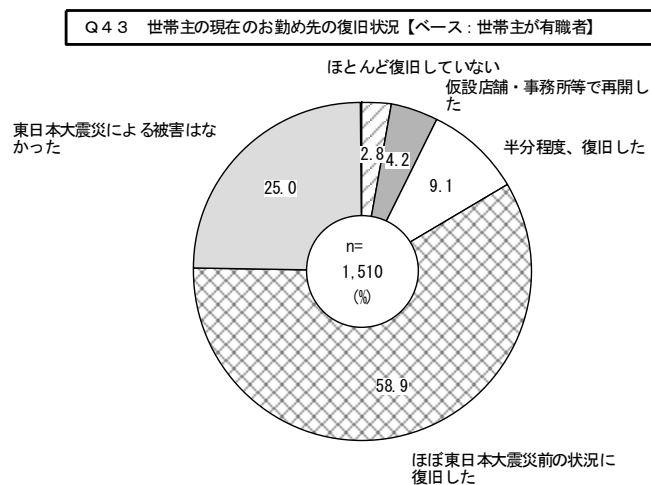
Q42 あなたのご家庭の世帯主の方は東日本大震災後、これまでに震災が原因で転職、退職、就職等されましたか。(住居移転や会社の経営上の理由など、震災が間接的な原因となっている場合を含みます。)

世帯主について、「震災を原因とする転職・退職・就職等はしていない」が87.6%と最も高く、次いで「東日本大震災が原因で転職した」(4.6%)、「わからない」(3.4%)、「東日本大震災が原因で退職した」(2.8%)となっている。



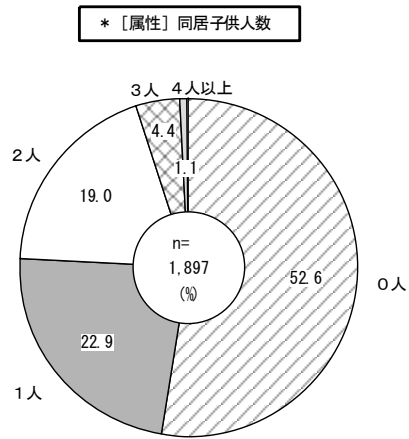
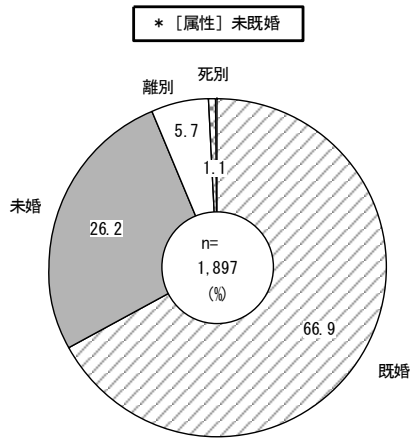
Q43 あなたのご家庭の世帯主の方の現在のお勤め先の復旧状況はどの程度ですか。(回答は1つ)

世帯主の現在の勤め先の復旧状況は、「ほぼ東日本大震災前の状況に復旧した」が58.9%と最も高く、次いで「東日本による被害はなかった」(25.0%)、「半分程度、復旧した」(9.1%)となっている。



基本属性より、未既婚について、「既婚」が 66.9%と最も高く、次いで「未婚」(26.2%)、「離別」(5.7%)「死別」(1.1%) となっている。

基本属性より、同居子供人数について、「0人」が 52.6%と最も高く、次いで「1人」(22.9%)、「2人」(19.0%) となっている。



Ⅲ 調査票（本調査）

震災からの生活の復興に関するアンケート

アンケートにアクセスしていただき、ありがとうございます。

このアンケートは、東日本大震災の発生時、被災市町村にお住まいであった方々を対象に、生活の復興の現状と、ボランティアや自治会活動など助け合い（共助）による復興支援活動についてお聞きするものです。
アンケート結果は全て統計的に処理され、研究目的にのみ使用されます。
どうかご協力をお願いいたします。

なお、このアンケートには、被災状況や住宅再建などの復旧・復興状況についておたずねする設問が含まれています。あらかじめご了承くださいませよう、あわせてお願い申し上げます。

このアンケートは、先日「生活に関するアンケート」でご回答いただいた内容にもとづき、**岩手県・宮城県・福島県の下記市町村に東日本大震災当時にお住まいの方**にお送りしています。

岩手県：宮古市、大船渡市、久慈市、陸前高田市、釜石市、大槌町、山田町、岩泉町、田野畑村、普代村、野田村、洋野町
宮城県：仙台市（宮城野区・若林区）、石巻市、塩竈市、気仙沼市、名取市、多賀城市、岩沼市、東松島市、亘理町、山元町、松島町、七ヶ浜町、利府町、女川町、南三陸町
福島県：いわき市、相馬市、南相馬市、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、新地町

※回答いただいたデータは調査委託元にデータとして提供されます。
※ご回答いただいた内容により、個人が特定されることはありません。
※アンケートの回答はすべて個人が特定できないよう処理をいたうえで使用させていただきます。

あらかじめご了承くださいませ、よろしければご協力をお願いいたします。

ご協力いただける場合は「開始」ボタンを押し、回答を開始してください。

Q1 あなたのお住まいについておたずねします。震災前と現在について、それぞれお答えください。

（回答は1つ）

※表示しているラジオボタンの中からお選びください。

※持家には家族名義のものも含みます。

※1「**仮設住宅**」とは、政府が被災者向けに建設し提供している応急的なプレハブ住宅を意味します。

※2「**みなし仮設住宅**」とは、被災者が既存の民間賃貸住宅に移り住んだ場合、その住宅を仮設住宅とみなして政府が家賃を支給している住宅を意味します。

※3「**災害公営住宅**」とは、家を失った被災者向けに政府が賃貸で提供する公営住宅（鉄筋コンクリート造等の恒久的な住宅）を意味します。

	持家・戸建て	持家・集合住宅（マンション等）	賃貸・戸建て	賃貸・集合住宅	社宅・官舎	仮設住宅（※1）	みなし仮設住宅（※2）	災害公営住宅（※3）	その他（具体的に：）
東日本大震災前（直前）のお住まい	☐	☐	☐	☐	☐	--	--	--	☐
現在のお住まい	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q2 あなたのお住まいは東日本大震災が原因で建て直し又は改修しましたか。

(回答は1つ)

- ☐ 震災が原因で建て直した
- ☐ 震災が原因で大規模な改修をした（柱、梁、壁、床、屋根など構造上重要な部材を取り替えるなどの改修を行った）
- ☐ 震災が原因で小規模な改修をした（瓦、タイル、表面材などの補修を行った）
- ☐ 震災が原因による再建・改修等はしていない
- ☐ わからない

Q3 あなたのお住まいは東日本大震災の前に地震保険に入っていましたか。

(回答は1つ)

- ☐ 地震保険に入っており、東日本大震災による保険金支払いの対象となった
- ☐ 地震保険に入っていたが、東日本大震災による保険金支払いの対象とはならなかった
- ☐ 地震保険に入っていなかった
- ☐ その他 具体的に：
- ☐ わからない

Q4 東日本大震災の前と現在を比較して、以下の項目にどのような変化がありましたか。

(回答は1つ)

	増えた (25%以上 増)	やや増えた (5%以上～ 25%未満 増)	変わらない (5%未満減 ～ 5%未満増)	やや減った (5%以上～ 25%未満 減)	減った (25%以上 減)	わからない
世帯の収入	☐	☐	☐	☐	☐	☐
世帯の支出	☐	☐	☐	☐	☐	☐
世帯の貯金	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q5 東日本大震災の前と現在を比較して、以下の項目にどのような変化がありましたか。

(回答は1つ)

	よくなった	ややよくな った	変わらない	やや悪くな った	悪くなった
あなたの身体の健康状態	☐	☐	☐	☐	☐
あなたのこころの健康状態	☐	☐	☐	☐	☐

■先日のアンケートで、震災前と現在のお住まいについて、同じ郵便番号をお答えの方におたずねします。

Q6 現在、あなた自身の生活の復興や、あなたがお住まいの地域や自治体の復興は、どの程度進んでいると感じますか。

(回答は1つ)

	十分に 復興している ／ 震災前と 変わらない	概ね 復興している (7～8割程 度)	半分程度 復興している	あまり 復興していな い (2～3割程 度)	全く 復興していな い
あなたご自身の生活の復興	☐	☐	☐	☐	☐
あなたがお住まいの地域(町内、集落)の復興	☐	☐	☐	☐	☐
あなたがお住まいの自治体(市、町、村)の復興	☐	☐	☐	☐	☐

■先日のアンケートで、震災前と現在のお住まいについて、異なる郵便番号をお答えの方におたずねします。

Q7 現在、あなた自身の生活の復興や、あなたがお住まいの地域や自治体の復興は、どの程度進んでいると感じますか。

(回答は1つ)

	十分に 復興している ／ 震災前と 変わらない	概ね 復興している (7～8割程 度)	半分程度 復興している	あまり 復興していな い (2～3割程 度)	全く 復興していな い
あなたご自身の生活の復興	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが震災前にお住まいの地域(町内、集落)の復興	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが現在お住まいの地域(町内、集落)の復興	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが震災前にお住まいの自治体(市、町、村)の復興	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが現在お住まいの自治体(市、町、村)の復興	☐	☐	☐	☐	☐

■先日のアンケートで、震災前と現在のお住まいについて、同じ郵便番号をお答えの方におたずねします。

Q8 3年後のあなた自身の生活やあなたがお住まいの地域や自治体を想像した場合、今よりもよくなっていると思いますか。

〈回答は1つ〉

	よくなっている と思う	やや よくなっている と思う	変わらない と思う	やや 悪くなっている と思う	悪くなっている と思う
あなたご自身の生活の復興	☐	☐	☐	☐	☐
あなたがお住まいの地域(町内、集落)の復興	☐	☐	☐	☐	☐
あなたがお住まいの自治体(市、町、村)の復興	☐	☐	☐	☐	☐

■先日のアンケートで、震災前と現在のお住まいについて、異なる郵便番号をお答えの方におたずねします。

Q9 3年後のあなた自身の生活やあなたがお住まいの地域や自治体を想像した場合、今よりもよくなっていると思いますか。

〈回答は1つ〉

	よくなっている と思う	やや よくなっている と思う	変わらない と思う	やや 悪くなっている と思う	悪くなっている と思う
あなたご自身の生活の復興	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが震災前にお住まいの地域(町内、集落)の復興	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが現在お住まいの地域(町内、集落)の復興	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが震災前にお住まいの自治体(市、町、村)の復興	☐	☐	☐	☐	☐
あなたが現在お住まいの自治体(市、町、村)の復興	☐	☐	☐	☐	☐

(すべての人)

Q10 あなたは現在お住まいの地域(町内、集落)にどれくらいの期間住んでいますか。
(※不在期間のある方は、通算してお答えください。)

〈回答は1つ〉

- ☐ 3か月未満
- ☐ 3か月以上～6か月未満
- ☐ 6か月以上～1年未満
- ☐ 1年以上～2年未満
- ☐ 2年以上～3年未満
- ☐ 3年以上～5年未満
- ☐ 5年以上～10年未満
- ☐ 10年以上～20年未満
- ☐ 20年以上～30年未満
- ☐ 30年以上

■先日のアンケートで、震災前と現在のお住まいについて、同じ郵便番号をお答えの方におたずねします。

Q11 あなたはこれからも現在お住まいの地域(町内、集落)で、暮らしていきたいと思いますか。

〈回答は1つ〉

- ☐ 現在の地域(町内、集落)で暮らしていきたい
- ☐ 同じ市町村内の別の地域に引っ越したい
- ☐ 別の市町村に引っ越したい
- ☐ 別の都道府県に引っ越したい
- ☐ わからない・検討中

■先日のアンケートで、震災前と現在のお住まいについて、異なる郵便番号をお答えの方におたずねします。

Q12 あなたはこれから現在お住まいの地域(町内、集落)で、暮らしていきたいと思いますか。

(回答は1つ)

- ☐ 現在の地域(町内、集落)で暮らしていきたい
- ☐ 震災前に住んでいた地域に戻りたい
- ☐ 同じ市町村内の別の地域(現在の地域や震災前の地域以外)に引っ越したい
- ☐ 別の市町村に引っ越したい
- ☐ 別の都道府県に引っ越したい
- ☐ わからない・検討中

■「現在の地域(町内、集落)で暮らしていきたい」とお答えの方におたずねします。

Q13 現在お住まいの地域(町内、集落)で、暮らしていきたいと思う最大の理由は何ですか。

(回答は1つ)

- ☐ 仕事の都合上
- ☐ 生活が便利
- ☐ 知り合いに囲まれて暮らしたい
- ☐ 家族が希望している
- ☐ 地域の復興に役立ちたいから
- ☐ その他 具体的に：

■「現在の地域(町内、集落)で暮らしていきたい」「震災前に住んでいた地域に戻りたい」とお答えの方におたずねします。

Q14 現在お住まいの地域(町内、集落)または震災前の地域で、暮らしていきたいと思う最大の理由は何ですか。

(回答は1つ)

- ☐ 仕事の都合上
- ☐ 生活が便利
- ☐ 知り合いに囲まれて暮らしたい
- ☐ 家族が希望している
- ☐ 地域の復興に役立ちたいから
- ☐ その他 具体的に：

■「同じ市町村内の別の地域に引っ越したい」「別の市町村に引っ越したい」「別の都道府県に引っ越したい」とお答えの方におたずねします。

Q15 現在お住まいの地域(町内、集落)から引っ越したいと思う最大の理由は何ですか。

(回答は1つ)

- ☐ 仕事の都合上
- ☐ 生活が不便
- ☐ 付き合いが大変
- ☐ 家族が希望している
- ☐ 津波や原発のない安全な地域に行きたい
- ☐ その他 具体的に：

■「同じ市町村内の別の地域(現在の地域や震災前の地域以外)に引っ越したい」「別の市町村に引っ越したい」「別の都道府県に引っ越したい」とお答えの方におたずねします。

Q16 現在お住まいの地域(町内、集落)または震災前の地域から引っ越したいと思う最大の理由は何ですか。

(回答は1つ)

- ☐ 仕事の都合上
- ☐ 生活が不便
- ☐ 付き合いが大変
- ☐ 家族が希望している
- ☐ 津波や原発のない安全な地域に行きたい
- ☐ その他 具体的に：

(すべての人)

Q17 あなたは現在、次の人との程度の頻度でつきあいをされていますか。

(回答は1つ)

	日常的にある (週に数回以上)	ある程度 頻繁にある (週に1回～ 月に数回以上)	ときどきある (月に1回～ 年に数回程度)	めったにない (年に1回～ 数年に1回程度)	全くない
親戚・親類	☐	☐	☐	☐	☐
近所の人	☐	☐	☐	☐	☐
仕事の仲間／職場の同僚(職場外で)	☐	☐	☐	☐	☐
友人・知人	☐	☐	☐	☐	☐

Q18 あなたは震災の前後で、次の人とのつきあいは増えましたか、減りましたか。

(回答は1つ)

	増えた	やや増えた	変わらない	やや減った	減った
家族	☐	☐	☐	☐	☐
親戚・親類	☐	☐	☐	☐	☐
近所の人	☐	☐	☐	☐	☐
仕事の仲間／職場の同僚(職場外で)	☐	☐	☐	☐	☐
友人・知人	☐	☐	☐	☐	☐

Q19 あなたは以下のようなことについて、家族や親戚以外の地域の知り合いで、実際に手伝ってくれたり、相談に乗ってくれる人はいますか。

(回答は1つ)

	震災前も今も いる	震災前は なかったが今 はいる	震災前は いたが今は いない	震災前も今も いない	必要ない
健康の相談	☐	☐	☐	☐	☐
住まいの相談	☐	☐	☐	☐	☐
お金の相談	☐	☐	☐	☐	☐
仕事の相談	☐	☐	☐	☐	☐

Q20 あなたは以下の人や団体をどの程度信頼していますか。

(回答は横の行ごとに1つずつ)

		大いに信頼している										全く信頼していない	
		10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
他人	⇒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
近所の人	⇒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
行政(政府や自治体)	⇒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
NPO・NGO	⇒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
自治会・町内会	⇒	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	

Q21 あなたは以下の活動をどの程度の頻度で行っていますか。震災前と現在(震災後)についてそれぞれお答えください。

(回答は1つ)

	日常的に していた (週に数回以上)	ある程度頻 繁に していた (週に1回～ 月に数回程 度)	ときどき していた (月に1回～ 年に数回程 度)	めったに していな かった (年に1回～ 数年に1回 程度)	全く してい なかつ た
震災前					
自治会・町内会・老人会・PTAなど地縁的な活動	☐	☐	☐	☐	☐
ボランティアやNPOなどの市民活動	☐	☐	☐	☐	☐
商工会・宗教・政治などの団体活動	☐	☐	☐	☐	☐
その他の団体活動	☐	☐	☐	☐	☐

Q22 あなたは以下の活動をどの程度の頻度で行っていますか。震災前と現在(震災後)についてそれぞれお答え下さい。

(回答は1つ)

1/5

現在(震災後)

自治会・町内会・老人会・PTAなど地縁的な活動
(※仮設住宅自治会、借り上げ住宅自治会等含む)

日常的に している (週に数回以上)	ある程度頻繁に している (週に1回～ 月に数回程度)	ときどき している (月に1回～ 年に数回程度)	めったに していない (年に1回～ 数年に1回程度)	全く していない
--------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	-------------

Q22 あなたは以下の活動をどの程度の頻度で行っていますか。震災前と現在(震災後)についてそれぞれお答え下さい。

(回答は1つ)

2/5

現在(震災後)

ボランティアやNPOなどの市民活動

日常的に している (週に数回以上)	ある程度頻繁に している (週に1回～ 月に数回程度)	ときどき している (月に1回～ 年に数回程度)	めったに していない (年に1回～ 数年に1回程度)	全く していない
--------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	-------------

Q22 あなたは以下の活動をどの程度の頻度で行っていますか。震災前と現在(震災後)についてそれぞれお答え下さい。

(回答は1つ)

3/5

現在(震災後)

商工会・宗教・政治などの団体活動

日常的に している (週に数回以上)	ある程度頻繁に している (週に1回～ 月に数回程度)	ときどき している (月に1回～ 年に数回程度)	めったに していない (年に1回～ 数年に1回程度)	全く していない
--------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	-------------

Q22 あなたは以下の活動をどの程度の頻度で行っていますか。震災前と現在(震災後)についてそれぞれお答え下さい。

(回答は1つ)

4/5

現在(震災後)

復興推進を目的として設立された住民組織の活動
(※復興推進を目的として設立された住民組織とは、将来のまちづくりを考えたり、集団移転や区画整理など復興プロジェクトを協議する「まちづくり協議会」など、被災地区の住民が参加する自主的な住民組織を意味しています。)

日常的に している (週に数回以上)	ある程度頻繁に している (週に1回～ 月に数回程度)	ときどき している (月に1回～ 年に数回程度)	めったに していない (年に1回～ 数年に1回程度)	全く していない
--------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	-------------

Q22 あなたは以下の活動をどの程度の頻度で行っていますか。震災前と現在(震災後)についてそれぞれお答え下さい。

(回答は1つ)

5/5

現在(震災後)

その他の団体活動
(※企業の支援活動なども含みます)

日常的に している (週に数回以上)	ある程度頻繁に している (週に1回～ 月に数回程度)	ときどき している (月に1回～ 年に数回程度)	めったに していない (年に1回～ 数年に1回程度)	全く していない
--------------------------	--------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	-------------

ボランティアや自治会活動など共助による復興支援活動について

※ 本アンケートで、『共助(助け合い)による支援活動』とは、ボランティア活動や義援金の提供、NPOなどの市民活動団体による支援活動や、自治会・町内会などによる復旧・復興活動、さらには大学や民間企業による社会貢献活動などを意味します。

なお、国や自治体などの行政による復興支援活動は除きます。

Q23 東日本大震災後、あなたは、復興を支援する次のような共助(助け合い)による支援活動に支援者として携わりましたか。あてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

☐	高齢者・被災者等の見守り活動
☐	生活サポート・福祉活動（高齢者・障がい者のサポート、車による送迎など）
☐	ふれ合い・コミュニティづくり（お茶会、お祭りの開催など）
☐	就業支援（仮設住宅等での在宅就業支援、相談会など）
☐	子どもの育成（子ども会イベント、学習支援など）
☐	集団移転やまちづくり支援（まちづくり対話集会、計画づくり支援など）
☐	住宅等の施設の整備や改修（仮設住宅の改修、集会所の整備など）
☐	医療・こころのケア（専門家による相談会など）
☐	物資等の提供
☐	義援金の提供
☐	泥だし・片付け・引っ越しなど労働提供
☐	情報発信・中間支援（被災地情報の発信など）
☐	その他
☐	支援者として携わった共助（助け合い）による支援活動はない

ボランティアや自治会活動など共助による復興支援活動について

※ 本アンケートで、『共助(助け合い)による支援活動』とは、ボランティア活動や義援金の提供、NPOなどの市民活動団体による支援活動や、自治会・町内会などによる復旧・復興活動、さらには大学や民間企業による社会貢献活動などを意味します。

なお、国や自治体などの行政による復興支援活動は除きます。

■ Q23で支援者として携わったとお答えの復興支援活動

- %xq23[jd]
- %% %q23x[13]%%

Q24 あなたがQ23でお答えの復興支援活動に携わった時期は概ねいつ頃ですか。あてはまる時期をすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

☐	震災直後～1か月以内の間（2011年3月11日～4月10日）
☐	震災1か月後～半年までの間（2011年4月11日～9月10日）
☐	震災半年後～1年後の間（2011年9月11日～2012年3月10日）
☐	1年後～現在までの間（2012年3月11日以降～現在）

ボランティアや自治会活動など共助による復興支援活動について

※ 本アンケートで、『共助(助け合い)による支援活動』とは、ボランティア活動や義援金の提供、NPOなどの市民活動団体による支援活動や、自治会・町内会などによる復旧・復興活動、さらには大学や民間企業による社会貢献活動などを意味します。

なお、国や自治体などの行政による復興支援活動は除きます。

Q25 あなたが「関わった」と答えた支援活動は、被災者の生活再建や地域の復興にどの程度役立っていると思いますか。

(回答は1つ)

	非常に役立っていると思う	役立っていると思う	やや役立っていると思う	効果を感じない	わからない
高齢者・被災者等の見守り活動	☐	☐	☐	☐	☐
生活サポート・福祉活動(高齢者・障がい者のサポート、車による送迎など)	☐	☐	☐	☐	☐
ふれ合い・コミュニティづくり(お茶会、お祭りの開催など)	☐	☐	☐	☐	☐
就業支援(仮設住宅等での在宅就業支援、相談会など)	☐	☐	☐	☐	☐
子どもの育成(子ども会イベント、学習支援など)	☐	☐	☐	☐	☐
集団移転やまちづくり支援(まちづくり対話集会、計画づくり支援など)	☐	☐	☐	☐	☐
住宅等の施設の整備や改修(仮設住宅の改修、集会所の整備など)	☐	☐	☐	☐	☐
医療・こころのケア(専門家による相談会など)	☐	☐	☐	☐	☐
物資等の提供	☐	☐	☐	☐	☐
義援金の提供	☐	☐	☐	☐	☐
泥だし・片付け・引っ越しなど労働提供	☐	☐	☐	☐	☐
情報発信・中間支援(被災地情報の発信など)	☐	☐	☐	☐	☐
その他 %q23x[13]%%	☐	☐	☐	☐	☐

■あなた自身の生活再建や現在住んでいる地域(町内、集落)についておたずねします。

ボランティアや自治会活動など共助による復興支援活動について

※ 本アンケートで、『共助(助け合い)による支援活動』とは、ボランティア活動や義援金の提供、NPOなどの市民活動団体による支援活動や、自治会・町内会などによる復旧・復興活動、さらには大学や民間企業による社会貢献活動などを意味します。

なお、国や自治体などの行政による復興支援活動は除きます。

Q26 震災後、あなた自身の生活再建や現在住んでいる地域(町内、集落)の復興を支援する次のような共助(助け合い)による支援活動を受けたり見聞きたりしましたか。知っているものをすべてをお答えください。

(回答はいくつでも)

☐ 高齢者・被災者等の見守り活動
☐ 生活サポート・福祉活動(高齢者・障がい者のサポート、車による送迎など)
☐ ふれ合い・コミュニティづくり(お茶会、お祭りの開催など)
☐ 就業支援(仮設住宅等での在宅就業支援、相談会など)
☐ 子どもの育成(子ども会イベント、学習支援など)
☐ 集団移転やまちづくり支援(まちづくり対話集会、計画づくり支援など)
☐ 住宅等の施設の整備や改修(仮設住宅の改修、集会所の整備など)
☐ 医療・こころのケア(専門家による相談会など)
☐ 物資等の提供
☐ 義援金の提供
☐ 泥だし・片付け・引っ越しなど労働提供
☐ 情報発信・中間支援(被災地情報の発信など)
☐ その他
☐ 共助(助け合い)による支援活動は受けたり見聞きたりしていない

ボランティアや自治会活動など共助による復興支援活動について

※ 本アンケートで、『共助(助け合い)による支援活動』とは、ボランティア活動や義援金の提供、NPOなどの市民活動団体による支援活動や、自治会・町内会などによる復旧・復興活動、さらには大学や民間企業による社会貢献活動などを意味します。

なお、国や自治体などの行政による復興支援活動は除きます。

■ Q26で受けたり見聞きしたことがあるとお答えの共助(助け合い)による支援活動

- %q26[]D
- % %q26[13]%%

Q27 震災後、あなた自身の生活再建や現在住んでいる地域(町内、集落)の復興を支援する共助(助け合い)による支援活動は概ねいつ頃行われていましたか。見聞きしたところのある活動も含めて、およその時期としてあてはまるものをすべてお答えください。

(回答はいくつでも)

- ☐ 震災直後～1か月以内の間 (2011年3月11日～4月10日)
- ☐ 震災1か月後～半年までの間 (2011年4月11日～9月10日)
- ☐ 震災半年後～1年後の間 (2011年9月11日～2012年3月10日)
- ☐ 1年後～現在までの間 (2012年3月11日以降～現在)

ボランティアや自治会活動など共助による復興支援活動について

※ 本アンケートで、『共助(助け合い)による支援活動』とは、ボランティア活動や義援金の提供、NPOなどの市民活動団体による支援活動や、自治会・町内会などによる復旧・復興活動、さらには大学や民間企業による社会貢献活動などを意味します。

なお、国や自治体などの行政による復興支援活動は除きます。

Q28 あなたが震災後「ある」とお答えいただいた支援活動は、あなた自身の生活再建や現在住んでいる地域(町内、集落)の復興にどの程度役立っていると思いますか。

(回答は1つ)

	非常に役立っていると思う	役立っていると思う	やや役立っていると思う	効果を感じない	わからない／よく知らない
高齢者・被災者等の見守り活動	☐	☐	☐	☐	☐
生活サポート・福祉活動(高齢者・障がい者のサポート、車による送迎など)	☐	☐	☐	☐	☐
ふれ合い・コミュニティづくり(お茶会、お祭りの開催など)	☐	☐	☐	☐	☐
就業支援(仮設住宅等での在宅就業支援、相談会など)	☐	☐	☐	☐	☐
子どもの育成(子ども会イベント、学習支援など)	☐	☐	☐	☐	☐
集団移転やまちづくり支援(まちづくり対話集会、計画づくり支援など)	☐	☐	☐	☐	☐
住宅等の施設の整備や改修(仮設住宅の改修、集会所の整備など)	☐	☐	☐	☐	☐
医療・こころのケア(専門家による相談会など)	☐	☐	☐	☐	☐
物資等の提供	☐	☐	☐	☐	☐
義援金の提供	☐	☐	☐	☐	☐
泥だし・片付け・引っ越しなど労働提供	☐	☐	☐	☐	☐
情報発信・中間支援(被災地情報の発信など)	☐	☐	☐	☐	☐
その他 %q26[13]%%	☐	☐	☐	☐	☐

ボランティアや自治会活動など共助による復興支援活動について

※ 本アンケートで、『共助(助け合い)による支援活動』とは、ボランティア活動や義援金の提供、NPOなどの市民活動団体による支援活動や、自治会・町内会などによる復旧・復興活動、さらには大学や民間企業による社会貢献活動などを意味します。

なお、国や自治体などの行政による復興支援活動は除きます。

Q29 役立っているとお答えいただいた支援活動は、どのような具体的な効果がありましたか。個人的な感想でも地域にとっての評価でもかまいません。あてはまるものをすべてお答えください。

〈回答はいくつでも〉

☐ 日常生活が快適になった（不便が解消された）

☐ 精神的な支え・はげみとなった

☐ 雇用、収入につながった

☐ 地域のコミュニケーションが高まった

☐ 地域活性化につながった

☐ 地域の一体感・結束が強まった

☐ 新たな住民組織が生まれた

☐ 外部との新たなネットワークが形成された

☐ 多様な人々との接触の機会となった

☐ 人口回復（人口減少の歯止め）に役立った

☐ その他 具体的に：

☐ なんとなく

ボランティアや自治会活動など共助による復興支援活動について

※ 本アンケートで、『共助（助け合い）による支援活動』とは、ボランティア活動や義援金の提供、NPOなどの市民活動団体による支援活動や、自治会・町内会などによる復旧・復興活動、さらには大学や民間企業による社会貢献活動などを意味します。

なお、国や自治体などの行政による復興支援活動は除きます。

Q30 あなたが「効果を感じない」と答えた支援活動は、どのような点が課題ですか。個人的な感想でも地域にとっての評価でもかまいません。あてはまるものをすべてお答えください。

〈回答はいくつでも〉

☐ 支援内容がニーズと一致していなかった

☐ 支援の時期や場所が悪かった

☐ 活動の継続性がなかった

☐ 支援の規模・対象範囲等が小さかった・参加者が少なかった

☐ 支援者の技術レベルが低かった

☐ 支援者が被災者や被災地の立場や状況を十分理解していなかった

☐ 支援の有無や程度の差が、住民間や地域間で不公平感を招いた

☐ 善意がかえって精神的負担となった

☐ その他 具体的に：

☐ なんとなく

ボランティアや自治会活動など共助による復興支援活動について

※ 本アンケートで、『共助（助け合い）による支援活動』とは、ボランティア活動や義援金の提供、NPOなどの市民活動団体による支援活動や、自治会・町内会などによる復旧・復興活動、さらには大学や民間企業による社会貢献活動などを意味します。

なお、国や自治体などの行政による復興支援活動は除きます。

Q31 行政（政府・自治体）による復興支援とボランティアや自治会活動等の共助（助け合い）による支援活動を比較して、あなたはどのように思いますか。

〈回答は1つ〉

	あてはまる	ややあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
行政（政府・自治体）より共助（助け合い）による支援のほうが素早い	☐	☐	☐	☐	☐
行政（政府・自治体）より共助（助け合い）による支援のほうがきめ細やかである	☐	☐	☐	☐	☐
行政（政府・自治体）より共助（助け合い）による支援のほうが被災者の立場に立った支援である	☐	☐	☐	☐	☐
行政（政府・自治体）より共助（助け合い）による支援のほうが継続的に行われている	☐	☐	☐	☐	☐
行政（政府・自治体）より共助（助け合い）による支援のほうが公平である	☐	☐	☐	☐	☐

ボランティアや自治会活動など共助による復興支援活動について

※ 本アンケートで、『共助(助け合い)による支援活動』とは、ボランティア活動や義援金の提供、NPOなどの市民活動団体による支援活動や、自治会・町内会などによる復旧・復興活動、さらには大学や民間企業による社会貢献活動などを意味します。

なお、国や自治体などの行政による復興支援活動は除きます。

Q32

あなたの住んでいる地域の復興過程においては、被災者の生活再建や復興まちづくりなど、みんなで協力し推進していくべきさまざまなものがあります。そのために必要な費用や労働の提供を求められたら、あなたはどの程度、協力しようと思いますか。今後数年間にわたる協力が求められるとして、あなたが**年間で負担できる費用負担額**を(労働提供できる場合はそれを金額に換算して)お答えください。

(回答は1つ)

- ☐ 負担しない
- ☐ 500円未満
- ☐ 500円以上～千円未満
- ☐ 千円以上～2千円未満
- ☐ 2千円以上～5千円未満
- ☐ 5千円以上～1万円未満
- ☐ 1万円以上～2万円未満
- ☐ 2万円以上～5万円未満
- ☐ 5万円以上

Q33

あなたの性別をお答えください。

(回答は1つ)

- ☐ 男性 ☐ 女性

Q34

あなたの年齢をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

才

Q35

世帯主はどなたですか。また、あなたは現在、誰と同居していますか。同居家族をお答えください。

※表示しているラジオボタンの中からお選びください。

	あなたご自身	配偶者	子ども	孫	自分の親 へ母親／父親	配偶者の親 へ母親／父親	自分の祖父母 へ祖母／祖父	配偶者の祖父母 へ祖母／祖父	その他	同居家族 はいない
世帯主 (回答はひとつ)	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐		--
同居家族 (回答はいくつでも)	--	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

Q36

同居している家族人数(あなたご自身を含む)をお答えください。

(回答は半角数字で入力)

人

Q37 あなたの**世帯全体**の昨年(2012年1月～12月)1年間の世帯年収(税込み)はおよそどのくらいになりますか。ボーナスや臨時収入、年金を含めてお答え下さい。

(回答は1つ)

- ☐ 100万円未満
- ☐ 100万円～200万円未満
- ☐ 200万円～400万円未満
- ☐ 400万円～600万円未満
- ☐ 600万円～800万円未満
- ☐ 800万円～1000万円未満
- ☐ 1000万円～1200万円未満
- ☐ 1200万円～1400万円未満
- ☐ 1400万円以上
- ☐ わからない

あなたのご家庭の世帯主『%%Xq35_1[]%%q35_1x[9]%%』についておたずねします。

Q38 あなたのご家庭の**世帯主**の年齢を教えてください。

(回答は半角数字で入力)

才

あなたのご家庭の世帯主『%%Xq35_1[]%%q35_1x[9]%%』についておたずねします。

Q39 現在のあなたのご家庭の**世帯主の職業**を教えてください。

(回答は1つ)

- ☐ 管理的職業
- ☐ 専門的・技術的職業
- ☐ 事務的職業
- ☐ 販売の職業
- ☐ サービスの職業
- ☐ 保安の職業
- ☐ 農林漁業の職業
- ☐ 生産工程の職業
- ☐ 輸送・機械運転の職業
- ☐ 建設・採掘の職業
- ☐ 運搬・清掃・包装等の職業
- ☐ 無職
- ☐ その他 具体的に：

あなたのご家庭の世帯主『%%Xq35_1[]%%q35_1x[9]%%』についておたずねします。

Q40 **世帯主の方**のお勤め先の従業員規模をお答えください。

(回答は1つ)

- ☐ 従業員数300人以上
- ☐ 従業員数20人以上300人未満
- ☐ 従業員数20人未満
- ☐ 官公庁(※自治体・公的機関も含みます)
- ☐ 個人事業主
- ☐ その他 具体的に：
- ☐ わからない

あなたのご家庭の世帯主『%%Xq35_1[]%%q35_1x[9]%%』についておたずねします。

Q41 世帯主の方の就業形態をお答えください。

(回答は1つ)

- ☐ 経営者・役員
- ☐ 正社員
- ☐ 派遣・契約社員
- ☐ パート・アルバイト
- ☐ その他 具体的に：

あなたのご家庭の世帯主『%%Xq35_1[]%%q35_1x[9]%%』についておたずねします。

Q42 あなたのご家庭の世帯主の方は東日本大震災後、これまでに震災が原因で転職、退職、就職等されましたか。
(住居移転や会社の経営上の理由など、震災が間接的な原因となっている場合を含みます。)

(回答は1つ)

- ☐ 東日本大震災が原因で転職した
- ☐ 東日本大震災が原因で退職した
- ☐ 東日本大震災が原因で就職をした
- ☐ 東日本大震災を原因とする転職・退職・就職等はしていない
※震災前から退職されている方はこちらをお選びください
- ☐ わからない
- ☐ その他 具体的に：

あなたのご家庭の世帯主『%%Xq35_1[]%%q35_1x[9]%%』についておたずねします。

Q43 あなたのご家庭の世帯主の方の現在のお勤め先の復旧状況はどの程度ですか。

(回答は1つ)

- ☐ ほとんど復旧していない
- ☐ 仮設店舗・事務所等で再開した
- ☐ 半分程度、復旧した
- ☐ ほぼ東日本大震災前の状況に復旧した
- ☐ 東日本大震災による被害はなかった

日本 NPO 学会震災特別プロジェクト
震災後の寄付・ボランティア等に関する意識調査報告書

2014 年 6 月 ©日本 NPO 学会

編集・発行：日本 NPO 学会事務局

この冊子の全部または一部を許可なく転載することはできません。

ご質問・ご意見などありましたら下記のメールアドレスまでお願いいたします。

※本事業はタケダ・いのちとくらし再生プログラムの一環として実施しています。

【E-mail】

日本 NPO 学会事務局：janpora@osipp.osaka-u.ac.jp

【ホームページ】

日本 NPO 学会：http://www.osipp.osaka-u.ac.jp/janpora/

震災特別プロジェクト：http://www2.osipp.osaka-u.ac.jp/janpora/shinsaitokubetsuproject/index.html
